RITSUMEIKAN UNIVERSITY

大学院生のための

奨学金・研究助成・キャリアパス支援ガイド

～誰もが気になるお金と進路の話～

GUIDE TO FURTHER LEARNING,
SCHOLARSHIPS AND RESEARCH GRANTS
FOR GRADUATE STUDENTS

2023

大学院キャリアパス推進室は、
大学院生の学びに対して2つの側面から支援をしています。

1
奨学金・研究助成制度

授業料をはじめ
研究活動を行うための
経済的な支援

P05-22

2
大学院キャリアパス支援プログラム

修了後のキャリア獲得に
繋がるスキルアップ、
知識をつけるための支援

P23-30

立命館大学では、建学の精神と教学理念に基づき、若手研究者の育成を推進するために、
大学院生に特化したキャリアパス支援を行う「大学院キャリアパス推進室」を設置しています。
「大学院キャリアパス推進室」では、研究支援、教育支援、キャリア支援の各部門を中心に、
国際部も含めて横断的に連携し、包括的な支援を実施しています。
大学院生が活き活きと研究に取り組める環境構築、また、研究者ライフコースの視点による若手研究者の人材育成支援を行うために、
「大学院キャリアパス推進室」は、大学院生へのキャリアパス支援についてさらなる拡充に取り組んでいきます。

Graduate Student Career Path Support Center Ritsumeikan University

奨学金・研究助成・
キャリアパス支援ガイドの使い方

本冊子は大学院キャリアパス推進室が、
「大学院での学修・研究活動をさらに充実したものにすること」を目的に、
大学院生向けに展開している奨学金・研究助成制度と
修了後のキャリア支援に関する取り組みをまとめて紹介することを目的に発行しています。
大学院生は、学ぶにも研究するにもお金がかかります。
経済的な負担が足かせとなって研究活動が停滞しないように
研究助成制度が豊富に取り揃えられています。
また、修了後のキャリア獲得に繋がる機会・学びの場も年間を通じて多数、提供しています。
「知らなくて損した！」とならないように、ぜひこの冊子を最後までご一読いただき、
活用できる制度・セミナーがあれば、ぜひご活用ください

― 目次―

研究助成・キャリア支援プログラム活用モデル 3

Ⅰ 奨学金・研究助成制度
－博士課程前期課程向け 5
－博士課程後期課程向け 9
－学内における雇用制度 17
－博士課程後期課程修了後の諸制度 18
－日本学術振興会特別研究員を目指している方へ 19
－学外の奨学金・研究助成制度・教育ローン 21

Ⅱ キャリアパス支援プログラム
－修了後のキャリア獲得・スキルアップに繋がる各種セミナー 23
－外国語学習＆ステップアップ編 26
－キャリアセンター主催 各種就職支援 27
－博士課程後期課程修了後のキャリア支援について 29

Ⅲ 全学共通の多様な学び 31

大学院キャリアパス推進室ウェブサイトの使い方 33

Ri-SEARCH
立命館大学若手研究者 学術・キャリア情報検索システムの使い方 34

2023年度からの変更点
・大学院キャリアパス推進室の事務局が大学院課からRARAオフィスに変更になりました。
・博士課程後期課程向けのキャリア相談窓口を開設しました。
・博士課程院生研究支援奨学金が新たに創設されました（旧制度は統合されました）。

＼ 迷ったらココを見る！ ／

研究助成・キャリア支援プログラム活用モデル
―目標とするキャリアパス実現に向けて―

目標とするキャリアパスを実現するためには、専門分野の研究を追求し、
その過程で修得した知識や能力を様々な分野で活用できることが大切です。
キャリアパス推進室では、研究を通じて身につけた専門性に加えて、各々が目指す
修了後のキャリアに合わせた奨学金・助成制度を整備するとともに、各種セミナーも実施しています。

修了後のキャリア ▶ 研究者を目指したい

1 研究者に必要な基礎知識・スキルを身につける

目標	具体例	活用できる奨学金・セミナー
知識を身につける	研究倫理を学ぶ	研究倫理プレセミナー／研究倫理共通セミナー ▶ P25
		研究倫理e-learning講座「eL CoRE」 ▶ P25
	教授法を学ぶ	PFF（大学教員準備セミナー） ▶ P25
	研究の幅を広げる	研究部主催「ライスボールセミナー※」で他者の研究を知る
スキルを身につける	英語力を高める	英語力向上支援プログラム ▶ P26
		ベーススキル向上支援補助金 ▶ P26
		TOEIC® L&R 公式試験受験料補助制度 ▶ P26
		英文アカデミックライティング（e-learning） ▶ P26
		オンライン英語論文個別指導 ▶ P26
	コミュニケーション力を磨く	プレゼンテーションセミナー ▶ P25
日本学術振興会特別研究員にチャレンジ	研究計画を練り上げる	リサーチプロポーザルコンテスト ▶ P25
	申請書の書き方を学ぶ	日本学術振興会特別研究員申請・書き方ガイダンス ▶ P25
		過去採択者の申請書を閲覧する（申請前の1ヶ月のみ）

申請の１年前から準備しておくことをお勧めします。

2 研究実績を積む

目標	具体例	活用できる奨学金・セミナー
研究成果をアウトプットする	学会で発表する	学生学会奨学金 ▶ P8・P12
		外国語論文投稿支援制度（院生） ▶ P8・P12
	英語論文を投稿する	外国語論文投稿支援制度（院生） ▶ P8・P12
	博士論文を出版する	博士論文出版助成金（人文社系対象） ▶ P13
様々な研究活動に参加する	複数のメンバーで研究会を運営する	学生研究会活動支援 ▶ P8・P12・P14
	国内で研究活動を実施する	研究実践活動補助金（M対象） ▶ P8
		博士課程院生研究支援奨学金（D対象） ▶ P11
	海外で研究活動を実施する	研究実践活動補助金（M対象） ▶ P8
		博士課程院生研究支援奨学金（D対象） ▶ P11
	企業のインターンシップに参加する	研究実践活動補助金（M対象） ▶ P8
		ジョブ型研究インターンシップ・プログラム（D対象） ▶ P31

※ライスボールセミナーは、立命館大学の教職員・若手研究者（ポストドクトラルフェロー・研究支援者）・大学院生・学部生、など学内関係者を参加対象として、昼食の時間に軽食をとりながら、研究者の研究発表およびフリーディスカッションを行うセミナーです。

ライスボールセミナーウェブサイト
http://www.ritsumei.ac.jp/rgiro/training/seminar/index.html/

先輩達のキャリアパスを知りたい方

修了生や教員からのメッセージがあり、ご自身のロールモデルが見つかるかも知れません。
※学内者のみ閲覧可能

「私のキャリアパス―大学院生に3つの送るメッセージ」
https://secure.ritsumei.ac.jp/students/ru_gr/interview/

※TOEFL®、TOEIC®はEducational Testing Service(ETS)の登録商標です。 ※TOEIC®L&Rテストの「L&R」は、Listening & Readingの短縮形です。

修了後のキャリア

民間企業に就職したい

1 応募先にアピールできる知識・スキルを身につける

目標	具体例	活用できる奨学金・セミナー
スキルを身につける	汎用的能力を高める	キャリアマネジメントセミナー ▶ P23
		プロジェクト・ゼミナール ▶ P31
		イノベーション・ゼミナール ▶ P32
	英語力を高める	ベーススキル向上支援補助金 ▶ P26
		TOEIC® L&R 公式試験受験料補助制度 ▶ P26
		英語力向上支援プログラム ▶ P26
		オンライン英語論文個別指導 ▶ P26
		英文アカデミックライティング（e-learning） ▶ P26
	コミュニケーション力を磨く	プレゼンテーションセミナー ▶ P25
		3分間スピーチコンテスト ▶ P25

2 応募先にアピールできる経験を積む

目標	具体例	活用できる奨学金・セミナー
経験を積む	研究活動 （学会発表、論文投稿など）	学生学会奨学金 ▶ P8・P12
		研究実践活動補助金（M対象） ▶ P8
		外国語論文投稿支援制度（院生） ▶ P8・P12
		博士課程院生研究支援奨学金（D対象） ▶ P11
	長期インターンシップ	ジョブ型研究インターンシップ・プログラム（D対象） ▶ P31
	海外留学、海外での研究活動	研究実践活動補助金（M対象） ▶ P8
		博士課程院生研究支援奨学金（D対象） ▶ P11

3 就職活動・キャリアについて学ぶ／企業との接点をつくる

目標	活用できるセミナー
就職活動に必要な知識・スキルを身につける	キャリアマネジメントセミナー ▶ P23
	各種選考対策講座・セミナー（M対象）／外国人留学生対象各種選考対策 ▶ P27-28
企業を知る 企業との接点をつくる	博士と企業のマッチングセミナー（D対象） ▶ P24
	連携型博士研究人材総合育成システム ▶ P24
	就職活動に関する各種ガイダンス・セミナー ▶ P27
	OB・OG企画（懇談会等）
	学外イベント（業界・職種・企業別セミナー等）

進路・就職に関する情報

支援企画の最新情報やインターンシップ情報、求人票、内定者の就職活動記録などを閲覧できます。外国人留学生の方、グローバルに活躍したい方向けの情報も掲載！

キャリアセンターウェブサイト
http://www.ritsumei.ac.jp/career/

公務員、資格取得に関する情報

エクステンションセンターウェブサイト
http://www.ritsumei.ac.jp/extension/

各種セミナー・助成制度に関する情報

大学院キャリアパス推進室ウェブサイト
http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/

修士課程・博士課程前期課程対象

博士課程進学

経済支援を獲得する

具体例	活用できる奨学金・セミナー
学外助成制度に挑戦	日本学術振興会 特別研究員に申請する ▶ P19
学内助成制度に挑戦	NEXT／RARA学生フェローに申請する ▶ P15

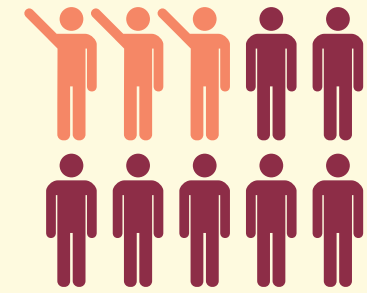
Ⅰ 奨学金・研究助成制度

「国際学会で発表したい」「海外で研究活動を行いたい」など目的別に活用できる奨学金・助成制度を紹介します。
授業料に対する奨学金のほか、研究活動に対して補助が受けられる助成制度を多数取り揃えています。

M 博士課程前期課程向け

大学院生の約30%が大学院キャリアパス推進室が運用する奨学金・研究助成金を受給しています。
研究活動を積極的に行うほど貰える助成金額の種類が増えるため、金額も大きくなります。
各種助成制度を上手く活用し、研究活動の推進に役立ててください。

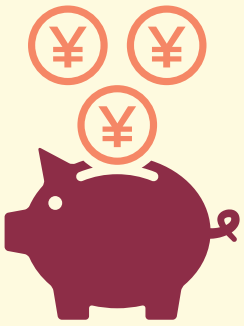
[立命館大学における奨学金受給状況 博士課程前期課程 (2022年度実績)]



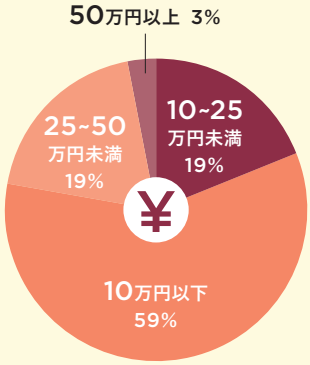
受給割合※ 30%

受給者 879名

※奨学金の出願資格を有する院生数を母数で算出



平均金額 127,049円



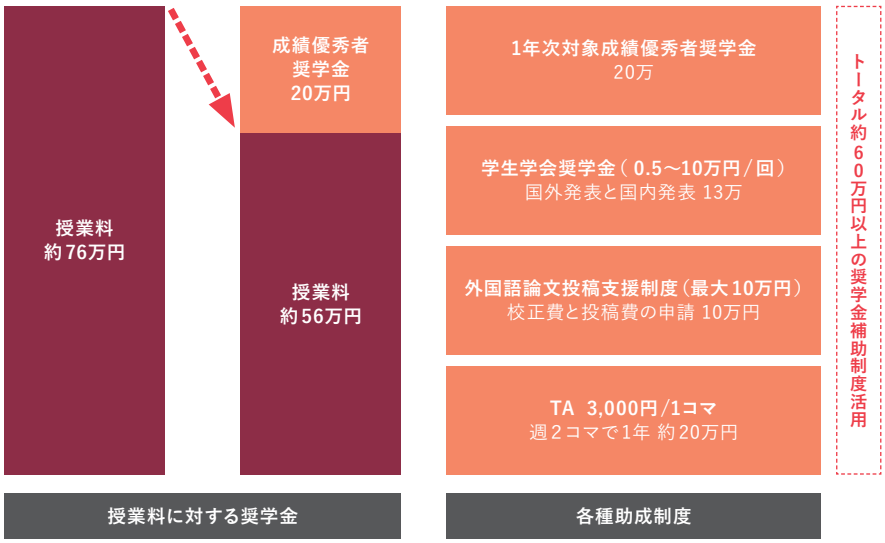
受給金額 3,053~650,000円

奨学金・助成制度の活用例(法学研究科の例)

博士課程前期課程1回生

「1年次対象成績優秀者奨学金」を受給した場合

入学試験成績上位者に支給される「1年次対象成績優秀者奨学金」(20万円給付の場合)を受給した場合、授業料は約56万円となります。あわせて各種助成制度を利用することで、さらに経済的負担は軽減されます。
〈外国人留学生の場合〉
在留資格が「留学」でかつ私費外国人留学生であれば、入学後に「外国人留学生授業料減免(院生Ⅱ種)」を申請することで、授業料がさらに20%減免されます。



＼ 知らないと損する！ベスト3を紹介します ／
奨学金担当者のおすすめ奨学金 博士課程前期課程

1 学生学会 奨学金（参加）
▶ P8

学会に興味はあるけど、学会発表するには少しハードルが高い。
そんな風に悩んでいる時に活用して欲しいのが、**学会奨学金（参加奨励）**です。
学会参加でも奨学金の受給対象となり、**実費金額に関わらず**、オンライン学会参加の場合でも**一律5000円の奨学金を受給できます。**
さらに**現地開催の学会へ**参加した場合はなんと**一律10,000円**を受給頂けます！
こちらが**2023年度より最大2回／年次申請が可能**となりました。
是非ご友人と一緒に学会に参加して、奨学金を活用してください！

詳細はこちら

2 ベーススキル 向上支援補助制度
▶ P26

本学が指定する**所定の英語学習講座受講に要した費用全額を補助する制度**です。
この中でも**一番人気**は、何といっても就職活動にも大きく関わる**TOEIC® テスト対策講座**！
講座費用は約3万8000円と自己負担だとかなり大きな金額ですが、**この補助制度を利用すると費用全額補助を受けられる（出席率が低いとダメです）**ので是非挑戦して頂きたいです。
そして今はオンラインでの受講が可能となっているので、ご自身の**研究活動と並行してお好きな場所から受講可能**なのも魅力的。英語スキルは就活時だけでなく、社会人になってからもとても重要なスキルなので、是非補助制度を活用して今の内に英語スキルを身につけましょう！

詳細はこちら

3 TOEIC® L&R 受験料全額補助制度
▶ P26

TOEIC® L&R 公式試験受験料は通常7,810円（税込）かかりますが、
その受験料を**1年最大2回（春学期／秋学期）補助**しています。
この補助を活用し、現状の英語力把握・英語学習のモチベーション・就職をより有利にするために、ぜひ公式試験を受験してみてください。
TOEIC® L&R 公式試験を受験すると「**公式認定証」が発行される為、就職活動の際に公式スコアとして提出すること**が可能となっております。
ぜひ2位の**ベーススキル向上支援補助制度と合わせて利用頂きたい**制度です！

詳細はこちら

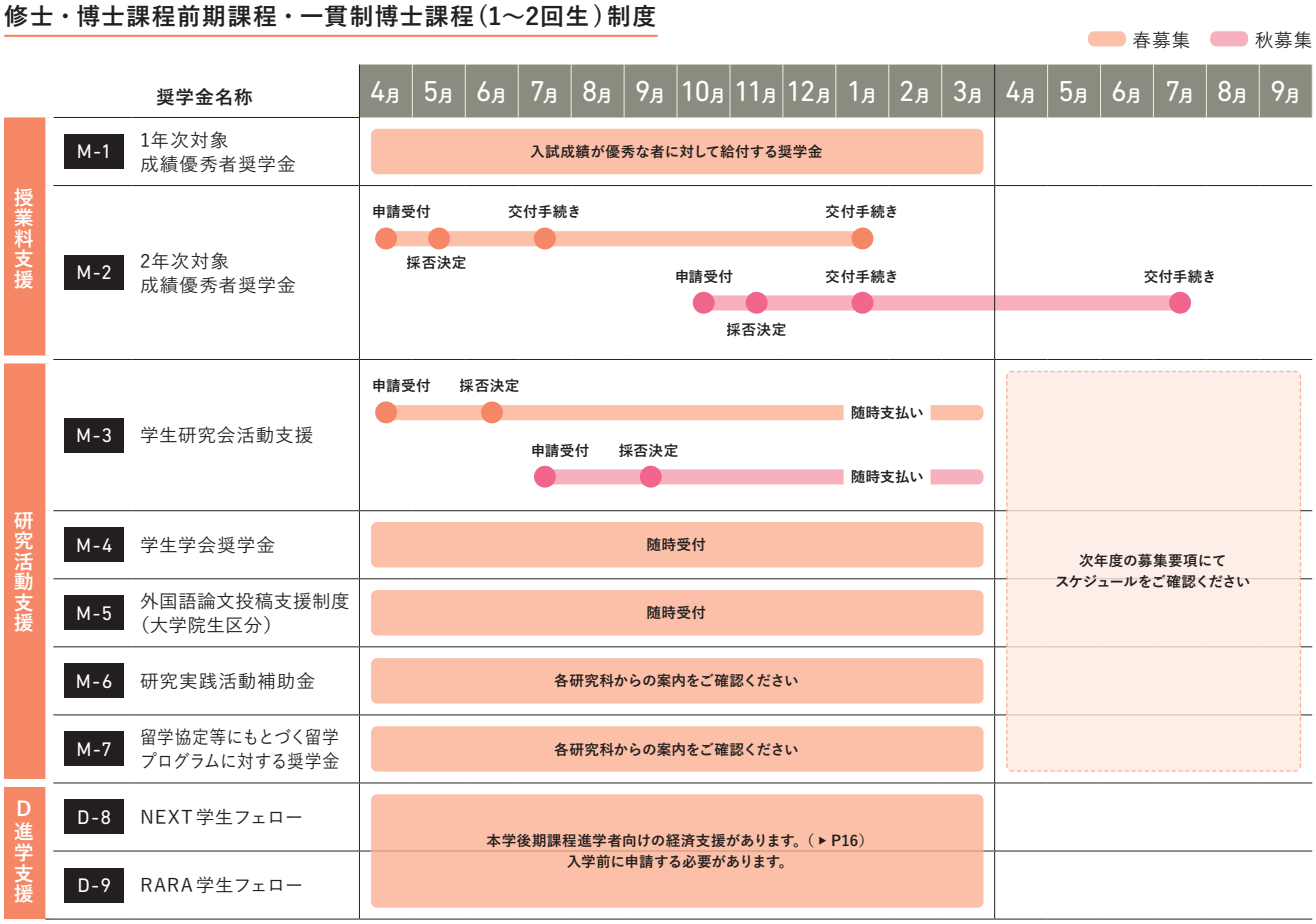
voice

研究活動の計画に合わせて活用できる奨学金を調べ、計画的に利用。
国際学会にて、研究者のロールモデルに出会い、後期課程進学を決意する契機になりました。

薬学研究科 博士課程前期課程2回生（取材当時）
受給された奨学金：50万円以上　成績優秀者奨学金、学生学会奨学金、ベーススキル向上支援制度、TOEIC® L&R 受験料全額補助制度
宮本 直樹 さん

将来、民間企業で活躍する研究者になりたいと思い、大学院に進学しました。奨学金・研究助成制度が充実しているのは、指導教員の先生や研究室の先輩・同期からの口コミで知っていました。M1の時に少しずつ研究成果が出て、国際学会での発表に挑戦してみようと思いました。ただ、国際学会の場合、費用も多くかかるので、金銭的な課題もありました。しかし、学生学会奨学金制度を知り、奨学金を貰えるというのが後押しになり、挑戦を決意しました。そこで、国際学会にむけて、英語力を高めようとCLA講座の受講料全額補助を利用し、TOEIC® L&R の公式テストも受験しました。研鑽を重ねた結果、国際学会では自信をもって発表することができ、世界中の研究者志望の同世代と出会ったことで、明確な目標像を描くことができました。この経験が後期課程進学を確認する契機となりました。また、研究専念に向けた経済支援であるNEXT学生フェローに採用されたことが、内部進学を決意する一つの動機になりました。研究をしたい人にとって専念できる環境が整っているので、ぜひ他の院生にも活用してもらいたいです。

修士・博士課程前期課程・一貫制博士課程（1〜2回生）制度



M-1 1年次対象成績優秀者奨学金

問 入学を希望する研究科の事務室

本奨学金は、修士課程・博士課程前期課程・一貫制博士課程（1年次）・専門職学位課程（教職研究科のみ）に入学する者で、入試成績が優秀な者に対して給付する奨学金です。研究科が指定する入試方式の合格者で、入試成績が優秀な者を採用内定者に選出し、原則として合格発表時に合格者本人に通知します。 ※国費外国人留学生ならびにこれに準ずる資金を得て入学を予定している者は対象外となります。

給付金額や給付人数などはこちらよりご確認ください▶

M-2 2年次対象成績優秀者奨学金

問 所属研究科の事務室

本奨学金は、優秀な学修および研究を行っている大学院生を育英し、さらなる学修および研究を奨励することを目的とした奨学金です。

■対象者

修士課程・博士課程前期課程・一貫制博士課程（1年次入学）・専門職学位課程（教職研究科のみ）の2年次（第3・4セメスター）在学者

※国費外国人留学生ならびにこれに準ずる奨学金等を得て在学する者、特別在学料を納入して在学する者は対象外となります

■支給額

10万〜60万円／奨学金の種類、給付金額、給付基準、給付人数は、研究科によって異なります／学期ごとに2学期間給付

■募集時期

春学期募集：4月（予定）［生命科学研究科のみ6月（予定）］／秋学期募集：10月（予定）※申請できるのは、（第3学期）在学者に限ります。

給付金額や給付人数などはこちらよりご確認ください▶

M-3 学生研究会活動支援

問 RARAオフィス

複数の研究科の大学院生による自主的な研究会活動を支援する制度です。

給付金額や給付人数などはこちらよりご確認ください▶

おすすめ！

M-4 学生学会奨学金

問 RARAオフィス

学会への参加または、学会における研究成果の発表を行う際の費用を支援する制度です。

■ 種類・支給額・支給回数

種類	支給額（一律）	支給回数上限
学会参加奨励（オンライン参加）	5千円／回	4種の奨学金からいずれか2回
学会参加奨励（現地参加*）	1万円／回	
学会発表奨励（オンライン発表／誌上開催）	1.5万円／回	
学会発表奨励（国内現地発表）	3万円／回	
学会発表奨励（国外現地発表）	10万円／回	年次1回

＊開催地は国内・国外問わず

■ 募集時期

Ri-SEARCHシステムより随時 ※2月末までに申請してください。（9月修了予定者は8月下旬までに申請することが必要です）

詳細はこちらよりご確認ください▶

M-5 外国語論文投稿支援制度（大学院生区分）

問 RARAオフィス

本制度は、研究成果の国際的な発信を促進することを目的として、国際学会やジャーナル等へ投稿する際に必要となる論文校正費と論文投稿費を助成する制度です。

■支給額

論文校正費（上限 5 万円/1 件）　論文投稿費（上限 5 万円/1 件）

■募集時期

SmartDBより随時　※3月2日までに提出してください。

詳細はこちらよりご確認ください▶

M-6 研究実践活動補助金

問 所属研究科の事務室

本補助金の対象となる研究科主催の教育プログラム（研究実践活動）に参加した場合、参加経費の一部を補助する制度です。活動地域・日数に応じて1.5～20万円が給付されます。補助対象のプログラムについては研究科の事務室までお問い合わせください。

概要はこちらよりご確認ください▶

M-7 留学協定等にもとづく留学プログラムに対する奨学金

問 所属研究科の事務室

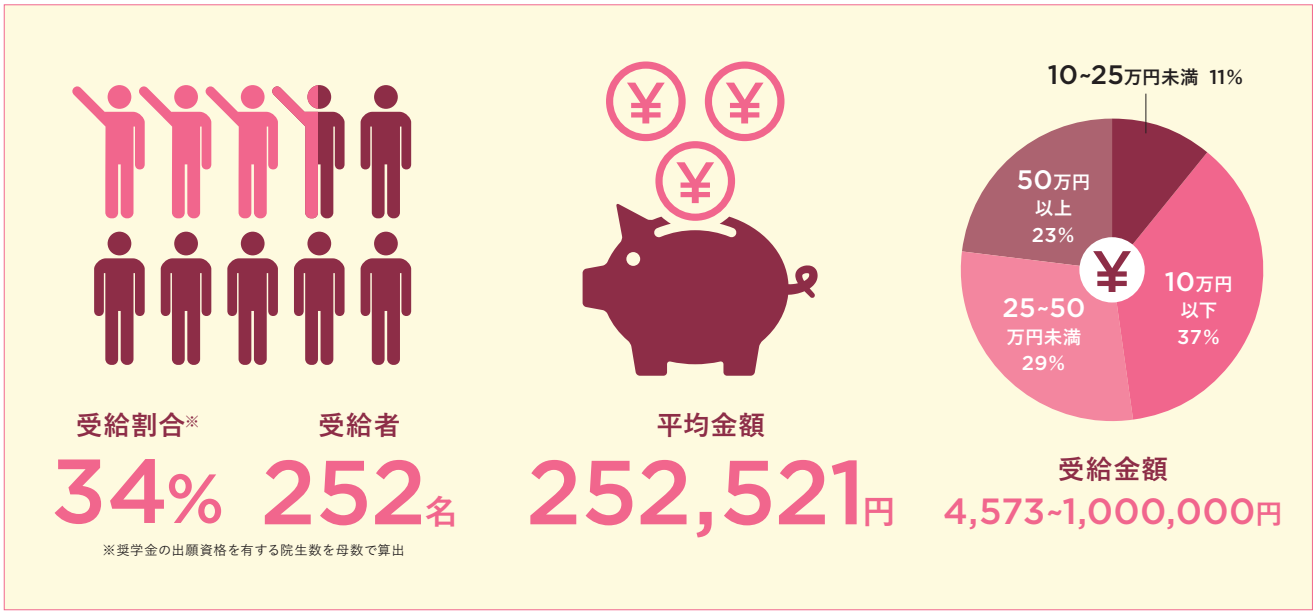
共同学位プログラム（DMDP）など、大学間協定に基づく留学プログラムに参加する大学院生に対して、派遣期間中の学費の一部を補助する制度です。

概要はこちらよりご確認ください▶

D 博士課程後期課程向け

大学院生の約30%が大学院キャリアパス推進室が運用する奨学金・研究助成金を受給しています。
研究活動を積極的に行うほど貰える助成金額の種類が増えるため、金額も大きくなります。
各種助成制度を上手く活用し、研究活動の推進に役立ててください。

[立命館大学における奨学金受給状況 博士課程後期課程 (2022年度実績)]

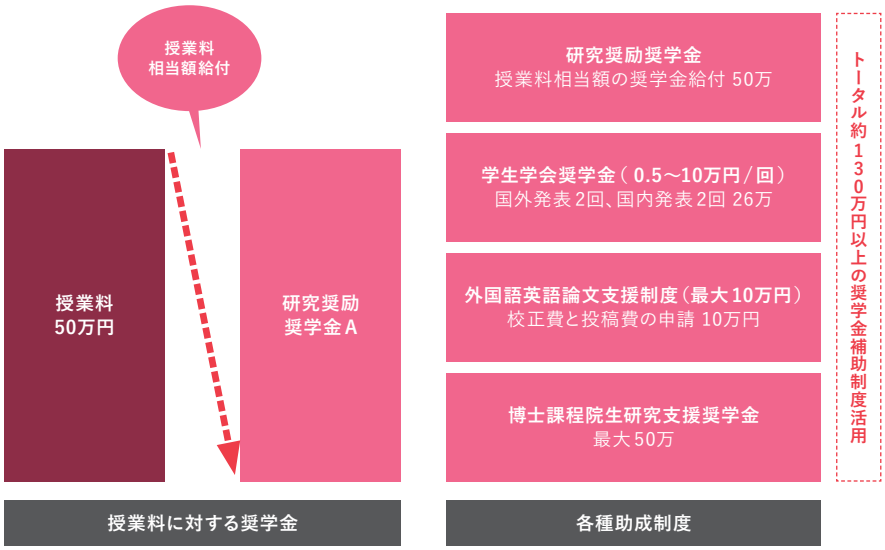


奨学金・助成制度の活用例(法学研究科の例)

博士課程後期課程1~3回生

「研究奨励奨学金A」を受給した場合

優秀な研究業績に応じて給付される「研究奨励奨学金」はA給付に該当すれば授業料相当額の奨学金が給付されるため、授業料は実質免除されます。あわせて各種助成制度も利用することができます。



＼ 知らないと損する！ベスト3を紹介します ／

奨学金担当者のおすすめ奨学金

博士課程後期課程

1 博士課程院生 研究支援奨学金

▶ P11

2023年度より創設された研究活動を支援するための制度です。
支給額はなんと**10～50万円／年**で、**年間最大120名の採用枠・在籍期間中に3回まで受給可能**となっており、たくさんの方に活用頂ける制度となっております！
まだ**認知度の低い2023年度は申請の大チャンス**です。
この奨学金を国外へフィールドワーク調査へ行ったり、実験器具の購入や書籍の購入等**幅広い研究活動にご活用ください。**

▲ 詳細はこちら

2 学生学会奨学金（参加）

▶ P12

奨学金を活用して学会参加したいけど、学会発表をするには少しハードルが高い……。
そんな時に是非活用頂きたい、こちらの奨学金。
学会参加でも奨学金の受給対象となり、**実費金額に関わらず**、オンライン学会参加の場合でも**一律5000円の奨学金を受給できます。**
さらに**現地開催の学会**へ参加した場合はなんと**一律10,000円**を受給頂けます！
こちらが**2023年度より最大3回／年次申請**が可能となりました。
是非ご友人と一緒に学会参加へ挑戦し、奨学金を活用してください。

▲ 詳細はこちら

3 みらい翻訳 AI自動翻訳 Mirai Translator®

▶ P26

2023年度より導入された**みらい翻訳**。
これまで**苦労していた英語や外国語の参考文献の読解**も、このみらい翻訳を活用頂くことで少しでも**スムーズに行って頂けるか**と思います。
翻訳サイトの有料版と同レベルの機能を有しているだけでなく、**翻訳に文字制限がなく、ファイルごと翻訳にかけられる**ようになっております。
2段組みの論文なども読み込むことができる為、幅広い情報を翻訳にかけて頂けます。ぜひ一度ご利用してみてください。

▲ ログインサイト

▲ 使い方に困ったときのFAQsサイト

voice

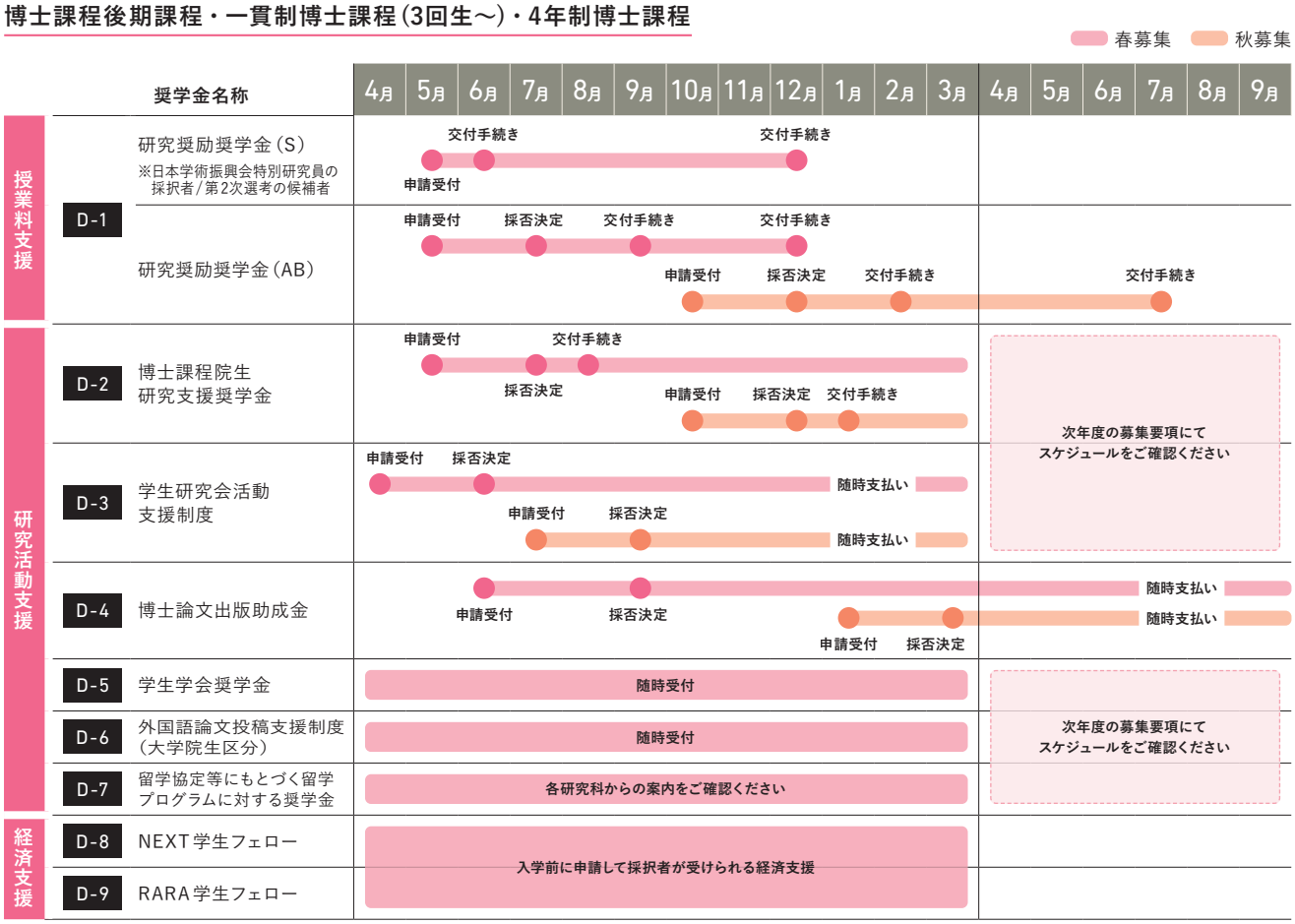
奨学金を活用して国際学会発表に初挑戦。
研究会活動など様々な活動を通じて研究力向上に努めました。

スポーツ健康科学研究科 博士課程後期課程1回生（取材当時）
2021年度日本学術振興会特別研究員採用
林 七虹 さん

研究分野	スポーツ健康科学、女性スポーツ競技者における貧血・鉄欠乏

立命館大学では各種奨学金・助成制度が充実しており、これらを上手く活用することで自分自身の学びの場を広げることができます。大学院では、学部生に比べて、学会など国内外において研究成果を発表する機会が多くなります。私は、博士課程後期課程へ進学しましたが、国際学会への参加は研究者としての経験を積む意味でとても大切である一方、学生である私たちにとっては経済面での心配は避けられません。私自身も不安な気持ちがありましたが「学生学会奨学金」を活用して、国際学会へ積極的に参加することができました。国際学会では、海外の研究者と交流する機会に恵まれ、大きな自信となりました。また、自分自身の学びに繋がったと思う制度は「学生研究会活動支援」です。大学院生による自主的な研究会を支援してもらえる制度ですが、その中で良かったと感じるのが「報告会」があったことです。大学院キャリアパス推進室が所管する各種制度においては、「報告会」としてアウトプットする機会が設けられているものが多く、他者へ伝えるという経験を積むことで、研究者としてのスキルを磨くことができたように感じます。

博士課程後期課程・一貫制博士課程（3回生～）・4年制博士課程



D-1 研究奨励奨学金

問 大学院課

本奨学金は、本学大学院に在学する優秀な研究業績を有する者の授業料を補助することにより、当該課程における研究活動を奨励することを目的とした奨学金です。S・A・Bの3種類に種別されています。

給付金額や給付人数などはこちらよりご確認ください▶

おすすめ！

D-2 博士課程院生研究支援奨学金

問 RARAオフィス

博士課程後期課程在学者を対象に、優れた研究計画に対して、実現に向けた経済的な負担を軽減し、在学中の学位取得に資する研究活動を促進することを目的に助成します。（申請区分に応じて10万円・30万円・50万円のいずれかを審査の上、給付します）

【従来の研究助成制度において支援していた活動事例】

- 国立国会図書館などに文献資料やデータ収集を行うための交通費・宿泊費・関連書籍の購入・資料収集費
- 国内外におけるフィールド調査やインタビュー調査を行うための交通費・宿泊費、調査分析に必要な機器の購入
- 国際会議やシンポジウム等への出席
- 国内外の研究機関に訪問し、研究会への出席や共同研究を行うための交通費・宿泊費・関連書籍の購入
- アンケート調査会社に調査依頼を行った際の費用　など

【以下の活動は対象外となります。】

- 博士論文と関係のない研究テーマを扱う活動
- 自己研鑽・啓発のみを目的としたもの（語学研修・資格取得の講座受講費等）
- 有給の研究活動（有給のインターンシップやアルバイト等を含むもの等）
- 他の団体からの奨学金や研究助成金を受けており、自己負担が発生しない活動

給付金額や給付人数などはこちらよりご確認ください▶

D-3 学生研究会活動支援制度

問 RARAオフィス

複数の研究科の大学院生による自主的な研究会活動を支援する制度です。 ▸過去の採択されたテーマなど詳しくは次のページへ

D-4 博士論文出版助成金

問 RARAオフィス

本制度は、本学博士課程後期課程院生の博士論文の公刊を促進することを目的としています。本学大学院博士課程後期課程にて博士学位を授与された方々が、当該博士学位論文を出版する際、その経費の一部（最大100万円）を助成するものです。
公刊された書籍は、立命館大学図書館に収蔵・配架されます。 ▸給付金額や給付人数・過去の出版物など詳しくは次のページへ

おすすめ！

D-5 学生学会奨学金

問 RARAオフィス

学会への参加または、学会における研究成果の発表を行う際の費用を支援する制度です。

■ 種類・支給額・支給回数

種類	支給額（一律）*1	支給回数上限
学会参加奨励（オンライン参加）	5千円／回	4種の奨学金からいずれか3回
学会参加奨励（現地参加*2）	1万円／回	
学会発表奨励（オンライン発表／誌上開催）	1.5万円／回	
学会発表奨励（国内現地発表）	3万円／回	
学会発表奨励（国外現地発表）	10万円／回	年次2回

＊1 日本学術振興会特別研究員を除く。日本学術振興会特別研究員は、実際にかかった経費を大学院課にて計算し、支給額を上限とした実費を支給します。
＊2 開催地は国内・国外問わず

■ 募集時期

Ri-SEARCHシステムより随時 ※2月末までに申請してください。（9月修了予定者は8月下旬までに申請することが必要です）

詳細はこちらよりご確認ください▶

D-6 外国語論文投稿支援制度（大学院生区分）

問 RARAオフィス

本制度は、研究成果の国際的な発信を促進することを目的として、国際学会やジャーナル等へ投稿する際に必要となる論文校正費と論文投稿費を助成する制度です。

■支給額

論文校正費（上限 5 万円/1 件）　論文投稿費（上限 5 万円/1 件）

■募集時期

SmartDBより随時 ※3月2日までに提出してください。

詳細はこちらよりご確認ください▶

D-7 留学協定等にもとづく留学プログラムに対する奨学金

問 所属研究科の事務室

共同学位プログラム（DMDP）など、大学間協定に基づく留学プログラムに参加する大学院生に対して、派遣期間中の学費の一部を補助する制度です。

概要はこちらよりご確認ください▶

学生満足度の高い制度をpick up!

D-3 学生研究会活動支援制度

問 RARAオフィス

複数の研究科の大学院生による自主的な研究会活動を支援する制度です。

■ 資格要件

(1) 3名以上の本学在学大学院生により構成されていること

(2) 複数の研究科[*1]の本学在学大学院生により構成されていること

(3) 研究代表者が本学在学大学院生であること[*2]

(4) 副研究代表者は研究代表者とは異なる研究科[*1]の本学在学大学院生であること

＊1 研究会活動の内容によっては、専攻単位での申請も可とします。
＊2 代表者は複数の研究会の代表となることはできません。

■ 支援対象枠

30研究会を上限に支援します。

■ 支援内容・金額

(1) 経費支援
1研究会につき年額10万円を上限として、研究会の企画等に関わる費用および学外講師の招聘に関わる費用を支給します。

(2) 施設支援
学内で研究会活動を行う際に、立命館大学課外活動団体への施設貸与条件に準じて教室を貸与します。

■ 募集時期

春学期募集：5月上旬（予定）
秋学期募集：8月上旬（予定）

給付金額や給付人数などはこちらよりご確認ください▶

［2022年度「研究会活動支援制度」採択研究会一覧］

No.1	移動空間時間研究会（いくじ研）
No.2	近・現代社会研究会
No.3	研究方法論勉強会
No.4	現象学研究会
No.5	古文用音声認識システム研究会
No.6	社会運動論研究会
No.7	心理学生研究会
No.8	男性性研究・男性学研究会
No.9	独・仏現代哲学研究会
No.10	日本思想史研究会
No.11	Public & Inclusion Research Project
No.12	マインドフルネス研究会
No.13	明律研究会
No.14	立命館司法犯罪心理の会
No.15	立命館朝鮮近現代史研究会
No.16	文構造研究会

D-4 博士論文出版助成金

問 RARAオフィス

本制度は、本学博士課程後期課程院生の博士論文の公刊を促進することを目的としています。本学大学院博士課程後期課程にて博士学位を授与された方々が、当該博士学位論文を出版する際、その経費の一部（最大100万円）を助成するものです。
公刊された書籍は、立命館大学図書館に収蔵・配架されます。

■ 資格要件

以下に記載する研究科の博士課程後期課程または一貫制博士課程のいずれかに在籍する者で、博士学位（甲号）の授与の申請をした者

- 法学研究科
- 経済学研究科
- 経営学研究科
- 社会学研究科
- 文学研究科
- 国際関係研究科
- 政策科学研究科
- 先端総合学術研究科
- テクノロジー・マネジメント研究科
- スポーツ健康科学研究科
- 人間科学研究科
- 食マネジメント研究科

■ 助成金額

1件あたり100万円を上限とします。

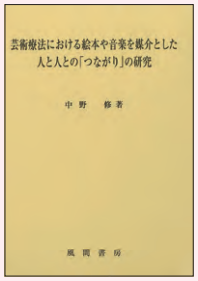
■ 募集時期

春学期募集：6月中旬（予定）
秋学期募集：1月下旬（予定）

詳細はこちらよりご確認ください▶

過去採択者の著書例

精神障害者のグローバルな草の根運動 ―連帯の中の多様性―
生活書院
伊東 香純 さん



芸術療法における絵本や音楽を媒介とした人と人との「つながり」の研究
風間書房
中野 修 さん

対人志向的ピア・サポートの訓練効果に関する実践研究
風間書房
松下 健 さん

増補版 ダブル・ライフを生きる〈私〉
晃洋書房
髙橋 康史 さん

生成の美と論理 ホワイトヘッドの形而上学
晃洋書房
有村 直輝 さん

発達障害診断と心理面接 ―ナラティヴ アプローチの実践―
金剛出版
中西 康介 さん

voice

「博士論文出版助成金」を活用し、博士論文を学術図書として刊行。
刊行を含む研究成果に対して「第14回日本科学史学会学術奨励賞」を受賞しました。

先端総合学術研究科 一貫制博士課程 2018年3月修了
立命館大学 衣笠総合研究機構 専門研究員
坂井 めぐみ さん

研究分野	医療史

私は、2019年度より衣笠総合研究機構専門研究員として医療史研究を行っています。大学院では、これまで見落とされてきた脊髄損傷者の「治癒には結びつかない医療」が、いかに形成・展開してきたのか社会情勢、医療制度、法律、患者の生活と関連づけながら、幕末期から現在にわたって検討することにより、「患者」の位置づけがどう変容したのかについて研究していました。2019年7月、大学院キャリアパス推進室が主管する「2018年度 立命館大学大学院博士論文出版助成金」を活用し、博士論文に加筆する形で、『「患者」の生成と変容：日本における脊髄損傷医療の歴史的研究』（晃洋書房）を刊行しました。出版には高額な費用が必要でしたが、この制度のお陰で出版費用の大半を助成してもらうことができ、私にとって大きな研究業績のひとつとなり、修了後のキャリア獲得につながりました。そして、刊行を含む研究成果に対し「第14回日本科学史学会学術奨励賞」を受賞しました。これからも科学史および技術史の分野に貢献できるよう、地道に研究を続けていきたいと思っています。

「日本科学史学会学術奨励賞」とは、我が国の科学史および技術史の研究に多大の功績があったと認められる者への顕彰を目的として日本科学史学会が2006年度に創設した4賞のうちの一つで、研究歴の短い研究者の顕彰を目的とするものです。

博士課程後期課程学生への経済支援について

立命館大学は、これまでより、各種奨学金・研究助成制度（総額3.6億円）を用意し、大学院生のための支援を行っています。さらに2021年度より、次の2つの事業の採択を受け、選抜された学生（各15名）に対して、研究専念支援金と研究費を支給するとともに、キャリア形成に関する支援を行っています。
研究活動に専念できる経済支援を充実させることで、安心して進学・修学できる環境整備に努めています。後期課程進学を検討している方は、ぜひ詳細確認の上、ご応募ください。

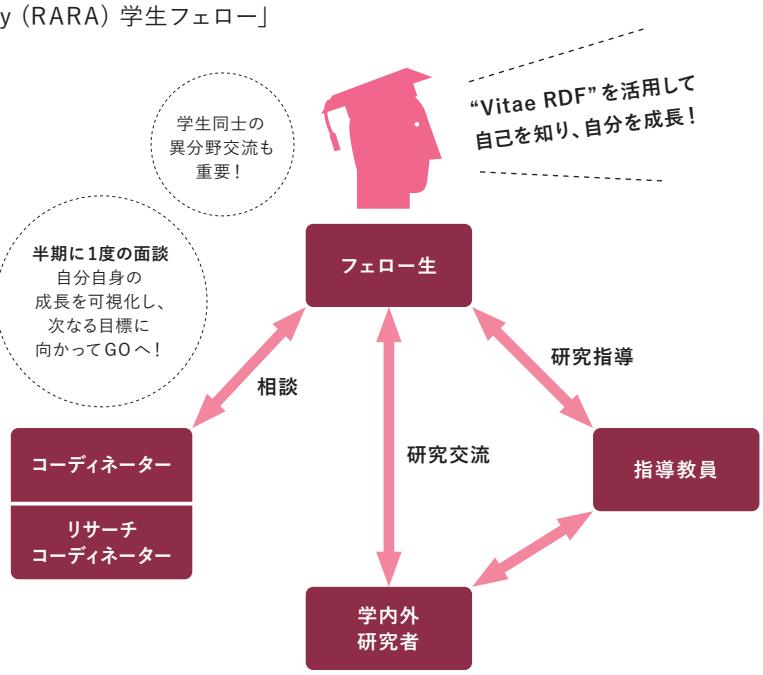
①文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」
「立命館大学NEXT（New Educational Xross-Training）学生フェロー」
②国立研究開発法人科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」
「Ritsumeikan Advanced Research Academy（RARA）学生フェロー」

NEXT学生フェローの特徴

- **学外の研究プロジェクトに参加**
  研究ネットワークの形成や社会実装力を獲得
- **細やかなキャリア形成支援**
  フェロー生のためのセミナーを実施
  研究面への効果も絶大！
- **トランスファブルスキルを獲得！**
  キャリアマネジメントセミナー・
  研究インターンシップ・
  博士と企業のマッチングセミナー
  …各種セミナーを提供

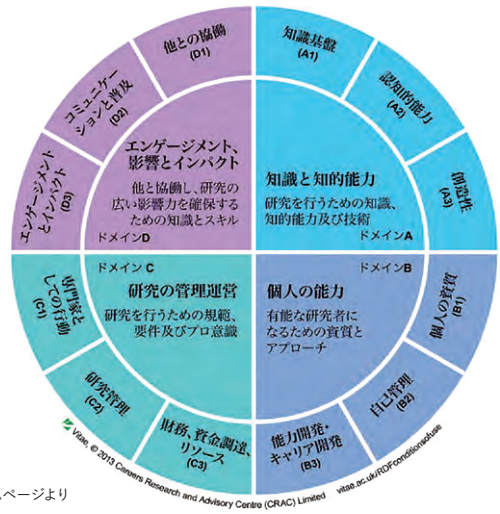
RARA学生フェローの特徴

- **研究力UPに手厚い支援**
  海外を含む著名な研究者との交流や
  研究従事が可能
- **RARAコロキアム**
  RARA学生フェローのためのセミナーで力量UP



Vitae RDFとは？

世界トップクラスの研究者の育成を目指し、研究者の総合的な能力開発を目的にVitaeが開発したフレームワーク。4つのドメイン（ドメインA：知識と知的能力、ドメインB：個人の能力、ドメインC：研究の管理運営、ドメインD：エンゲージメント、影響とインパクト）に分けられており、各ドメインの内容はさらに細分化されます。「研究者基礎能力の自己成長レポート」を活用して、自己研鑽を図っていきます。



出所：国立研究開発法人科学技術振興機構ホームページより

D-8 NEXT学生フェロー

問 RARAオフィス

本学の研究拠点において、優秀で意欲の高い博士課程後期課程の大学院生を「立命館大学NEXT フェローシップ生」として受け入れ、先端的な研究を行う多様な分野の研究人財と協働しながら研究活動に従事することで、自らの専門性を深めながら幅広い視点を獲得することを目指すプログラムです。各研究拠点が連携する社会・地域・企業等との研究プロジェクトを通じ、社会課題や地域課題の解決に専門知を応用する方法を学ぶことで、社会実装能力の涵養も図ります。
なお、本プログラムは、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の採択を受け、2021年度より実施しています。

■ 資格要件

フェローシップの支給対象となる初年度の4月1日において以下の条件を満たす方

博士課程後期課程1年次、一貫制博士課程3年次、
4年制博士課程2年次

※以下に該当する方は対象になりません。

- 日本学術振興会の特別研究員の身分を有する方
- 文部科学省国費奨学金を受給している方
- 外国政府からの奨学金を受給している方
- 国、民間企業等から奨学金等を受けており、当該奨学金等以外の資金援助を受けることが認められていない方
- 社会人学生のうち、所属企業等から十分な生活費相当額（240万円／年を基準とする）を受給している方

■ 支援人数

各年度15名

■ 支援内容

研究専念支援金として月額180,000円（年額216万円）および研究費として年額最大34万円を支給します。
フェローシップの給付期間は、最長で3年間です。

NEXT学生フェローウェブサイト
www.ritsumei.ac.jp/next-fs/

詳細はこちらよりご確認ください▶

D-9 Ritsumeikan Advanced Research Academy(RARA)学生フェロー

問 RARAオフィス

本学の中核研究者の指導を受ける博士課程後期課程学生のうち、特に優秀な学生をRARA学生フェローとして選抜・認定を行った上で、育成支援を行うプログラムです。RARA学生フェローとして選抜された博士課程後期課程学生は、高い研究力を持つ指導教員と共にRARAに参画し、個々の研究力を向上させ、分野の異なる国内外の研究者と交わる中で、国際性と学際性、さらに複眼的視野を兼ね備えた国際社会で活躍できる資質と能力を備えた博士人材へと成長していくことを目指します。
なお、本プログラムは、JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の採択を受け、2021年度より実施しています。

■ 資格要件

以下の全ての条件を満たす方
(1) 指導教員からの推薦を得ている方
(2) 以下のいずれかの課程に在学する方
　博士課程後期課程1年次、一貫制博士課程3年次、
　4年制博士課程1年次
(3) 30歳未満である方

※以下に該当する方は対象になりません。

- 日本学術振興会の特別研究員の身分を有する方
- 文部科学省国費奨学金を受給している方
- 外国政府からの奨学金を受給している方
- 国、民間企業等から奨学金等を受けており、当該奨学金等以外の資金援助を受けることが認められていない方 等

■ 支援人数

各年度15名
※RARAフェローの指導を受ける博士課程後期課程学生を優先します。

■ 支援内容

研究活動支援金として月額180,000円（年額216万円）および研究費として年額最大34万円を支給します。
フェローシップの給付期間は、最長で3年間です。

RARA学生フェローウェブサイト
https://rara.ritsumei.ac.jp/spring/

詳細はこちらよりご確認ください▶

NEXT学生フェロー、RARA学生フェローともに、2024年度入学者以降、制度が変更になる場合があります。

A 学内における雇用制度

A-1 ティーチング・アシスタント（TA）

問 大学院課

本制度は、本学大学院生をティーチング・アシスタント（TA）として採用し、教員とともに教育を補佐・援助することで、本学の教育の質向上を図ると共に、大学院生に自らの教育力・指導力・コミュニケーション力を高め、研究者・教員等のキャリア形成機会を提供することを目的としています。

■ 応募資格

本学の正規課程に在籍する大学院生。担当する授業は、教育対象となる学生より上位の課程に所属している必要があります。

■ 処遇

1授業時間（90分）あたり3,000円
※授業前後の作業時間（30分）を含みます。

■ 勤務時間

原則として、セメスター平均で週15時間以内

■ 応募方法

各学部、研究科の事務室および教学機関の窓口やウェブサイトにて、原則として各セメスターの授業開始前に募集を行います。募集要項の内容を確認して、応募してください。

■ TAに関する情報

TAに関する取り決めを定めた「ティーチング・アシスタント制度に関するガイドライン」や、TAを対象とした研修については、以下のウェブサイトをご覧ください。

http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-ta/

詳細はこちらよりご確認ください ▼

A-2 リサーチアシスタント（RA）

問 各キャンパスのリサーチオフィス

各研究機構において、研究プロジェクト、共同研究、受託研究等に従事する者をリサーチアシスタントといいます。

■ 所属

立命館大学の各研究機構

■ 任期

1年以内で年度をまたぐ契約は行いません（雇用契約は、契約期間満了時の業務量、本人の能力、勤務成績および態度、従事している業務の進捗等を確認し、双方合意のうえ、4回を上限として更新することがあります）。

■ 待遇等

（1）給与：研究業績および業務内容を勘定し、別表のとおりとします
（2）手当：超過勤務手当・深夜手当・休日出勤手当
（3）勤務時間：1週間につき実働20時間未満、1日につき実働7時間30分以内

■ 資格・要件

（1）本学の受入れ教員における環境、雇用原資が準備できていること
（2）国費留学生など就労することに制限を受けている者を除き、本学または他大学の博士課程後期課程・一貫制博士課程（3年次以上）・4年制博士課程の正規課程に在学する者

別表

等級	時間単価	
RA3	1,500円（基準）	
RA2	2,500円	優れた研究実績を有する者。または、高度な研究業務を担う者。
RA1	3,500円	とくに優れた研究実績を有し、かつ高度な研究業務を担う者。

詳細はこちらよりご確認ください ▼

A-3 教学リサーチアシスタント（教学RA）

問 RARAオフィス

以下に所属する博士課程後期課程在学生を対象とし、研究プロジェクト、共同研究、受託研究等に従事することにより、研究力量の向上や研究成果の創出につなげ、国内外の教育・研究機関、企業（研究職）等で活躍できる若手研究者の育成を目指します。また、経済的にも支援をすることにより、研究に専念できる環境づくりにつなげます。

■ 所 属

立命館大学理工学研究科・情報理工学研究科・生命科学研究科・薬学研究科・スポーツ健康科学研究科のいずれか

■ 任 期

原則1年以内で、年度単位
※契約の更改は博士課程後期課程在学3年間（薬学研究科は4年間）を限度

■ 業務内容

指導教員の監督の下に下記の業務を行います。
（1）研究プロジェクト、共同研究、受託研究などに関する研究補助業務
（2）研究室における教育活動に関する補助業務

■ 待遇等

時給：原則1,500円（年間50万円上限）
※研究業績および業務内容により2,500円、3,500円として申請することも可

B 博士課程後期課程修了後の諸制度

B-1 専門研究員（若手研究者育成プログラム）

問 各キャンパスのリサーチオフィス

本プログラムは、国内外の教育・研究機関、企業（研究職）等で活躍できる若手研究者の育成を目的として実施します。本大学にて学位を取得した若手研究者が、学内研究拠点等における研究者ネットワークの中で研究力量を涵養し、次なるキャリアポストの獲得を促進できるプログラムを目指します。また将来的に本大学において中核研究者として他の研究者を巻き込んで活躍するような人材育成も企図します。対象とする研究分野は、特定の分野に限定するものではなく、人文社会科学から自然科学まで全ての分野を対象とし、基礎から応用までのあらゆるレベルにおいて募集を行います。

募集人数

15名程度

任用後の所属

立命館大学の各研究機構

任期

1年以内の年度単位とします。なお、契約の更新は2回を限度とし、各年度の継続申請による審査での採択を条件とすることを予定しています。

業務内容

受入教員の責任のもと、活発な研究活動を行うことで、研究力量の向上のみならず研究者間ネットワークの構築・拡大を図ります。

待遇等

（1）勤務：週5日　専門業務型裁量労働制により、7.5時間／日 働いたものとみなされます。
（2）給与：年俸396万円（税込）【契約更新による昇給なし】
（3）交通手当・扶養手当・住宅手当：支給しない
（4）私学共済事業団・雇用保険：加入する
（5）研究に支障の無い範囲であれば、所属する各研究機構の運営委員会の承認を得て、通年平均で学内外合計4授業時間（1授業時間は90分）までの授業担当は可能とする
（6）勤務場所：主たる研究場所となるキャンパス
（7）その他の勤務条件は本大学の就業規則および任用契約で定める

受給義務

（1）採用年度期間中に、科学研究費助成事業－科研費－の申請を行うこと
（2）採用年度末に報告書の提出を行うこと
（3）本大学の研究倫理指針を遵守すること

期待する役割

本大学が企画する公開講座・イベント等において、積極的な研究成果の発表、教員や在学生とのネットワーク形成に努めること

※記載の内容は2022年度に募集した若手研究者育成プログラムの内容になります。2023年度の募集詳細については、2023年度の募集開始時に公表される募集要項をご確認ください。

詳細はこちらよりご確認ください ▼

B-2 補助研究員

問 各キャンパスのリサーチオフィス

各研究機構が行う研究プロジェクト等の研究支援のため、専門的知識や技術等を必要とする業務に従事する者を補助研究員といいます。

■ 所属

立命館大学の各研究機構

■ 任期

1年以内で年度をまたぐ契約は行いません（雇用契約は、契約期間満了時の業務量、本人の能力、勤務成績および態度、従事している業務の進捗等を確認し、双方合意のうえ、4回を上限として更新することがあります）。

■ 資格・要件

（1）本学の受入れ教員における環境、雇用原資が準備できていること
（2）専門的知識や技術等を有していること

■ 待遇等

（1）給与：時間給（業務経験、研究業績等を勘案し、別表のとおりとします）
（2）手当：超過勤務手当・深夜手当・休日出勤手当
（3）勤務時間：1週間について実働20時間未満、1 日につき実働7時間30分以内

詳細はこちらよりご確認ください ▼

別表

等級	HS1	HS2	HS3	HS4	HS5	HS6	HS7	HS8	HS9
時間単価	4,000円	3,500円	3,000円	2,500円	2,000円	1,800円	1,500円	1,200円	1,000円

日本学術振興会特別研究員を目指している方へ

特別研究員制度は、日本トップクラスの優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る目的で独立行政法人日本学術振興会が実施する制度です。特別研究員に採択された方には、研究奨励金が支給されます。採択者の多くは常勤の研究職に就いており、若手研究者の登竜門と言われています。将来、研究職を目指している方、後期課程進学を考えている方は、ぜひ挑戦してみてください。

［申請区分］

DC1

後期課程**進学時**※に申請する区分

採用期間	3年間
研究奨励金	月額 20万円（支給予定額）
研究費	毎年度 150万円以内
採択のポイント	修士課程・博士課程前期課程2回生5月時点※までに描いた研究計画の独自性や実現性を評価されます。さらに、「研究遂行能力がある」とアピール出来ると評価が上がります。

DC2

後期課程**在学時**※に申請する区分

採用期間	2年間
研究奨励金	月額 20万円（支給予定額）
研究費	毎年度 150万円以内
採択のポイント	申請時※までに描いた研究計画の独自性や実現性を評価されます。 さらに、「研究遂行能力がある」とアピール出来ると評価が上がります。

※課程により、時期が異なる場合があります。詳細については、募集要項を必ず確認してください。

［採択されるために準備すべきこと］

採択されるためのノウハウを知る

以下のセミナーに参加する

- 日本学術振興会特別研究員 申請・書き方ガイダンス
- 学振初チャレンジセミナー
- 申請書ブラッシュアップセミナー
- 直前ピアレビュー会

研究実績を積む

- 学会で発表
- 学術誌に論文投稿
- 研究会活動を行なう
- 海外での研究活動
- リサーチプロポーザルコンテストで腕試し
- ベーススキル向上支援補助制度を使って、英語を学ぶ

［特別研究員に採択されるための準備ステップのモデル例］

Step 1

申請1年前

申請書に記載できる実績・アピールポイントを積み上げる

・学会での発表、論文の投稿など研究実績を積む
・奨学金や学外の助成制度に積極的に応募する※
・学内で開催されるプロポーザルコンテストや各種キャリアパスのセミナーに参加して研究能力を高め、研究者のネットワークを広げる

※大学や財団による奨学金、助成金を得ていることも実績として記載できます

voice

立命館大学初 育志賞受賞！

学内セミナーの活用、早めの準備、そして自身の研究を楽しむこと
これが、採択のためのキーワードです。

生命科学研究科 博士課程後期課程 2020年3月修了
名古屋工業大学大学院工学研究科 助教
松原 翔吾 さん

研究分野	有機化学、光化学、超分子化学

日本学術振興会の特別研究員（以下、学振）に採択されることは、自身のキャリア形成においてかなり有利になります。簡単には採択されないとは聞いていましたが、チャレンジしてみようと思い、博士課程前期課程1回生の冬頃から申請書作成の準備を始めました。学振の申請書は、かなりの分量があるだけでなく、内容に一貫性をもってまとめることが大切になります。文書をまとめているうちに考え方が整理されることもあれば、新たに関心が湧き、一から書き直す羽目になることもあり、書き上げてからも何度も読み直してブラッシュアップしました。
私は将来、アカデミアでの就職を考えています。研究は、研究対象や自分自身と黙々と向きあうことが多く、なんらかの成果が出たとしても「誰かに認められる」ことが少ないものです。その中で「学振に採択をされた」ということは大きな自信となり、アカデミアへの想いをさらに後押ししてくれることになりました。
大学院キャリアパス推進室では、学振申請のための様々なサポートを行っています。これらのセミナーをうまく活用すること、そして早めに準備を始めること、そしてなにより研究を楽しむこと、それが学振採択のためのキーになると思います。

「育志賞」は、将来の活躍を期待される優秀な若手研究者を奨励するために、当時の天皇陛下により平成22年に創設されました。毎年、全国約7.5万人の博士課程後期課程大学院生を代表して、人社系、理工系、生物系各分野から優秀な大学院生が推薦され、受賞者が確定します。
第10回育志賞（令和元年）の公募では、各大学・学術団体が厳選した推薦者175名が集まり、厳正なる審査の結果、18名が受賞者として選ばれましたが、松原さんはその中の1名として選出されました。立命館大学としては、松原さんが初めての受賞となります。

Step 2

申請1ヶ月前（4月初旬）

日本学術振興会特別研究員 申請・書き方ガイダンスに参加

特別研究員の制度概要や募集スケジュールに関するガイダンスです。ガイダンスでは、申請書の書き方に関する事例紹介他、採択者から体験談を聞くことができる機会を設けています。

Step 3

申請直前（4月下旬～5月上旬）

直前ピアレビュー会に参加

自身で作成した申請書類が、書き方のポイント・コツを押さえられているか、グループでピアレビューし、ブラッシュアップします。採択者がメンターとして入ることもあります。

Step 4

5月中旬

電子システムを通じて申請（秋頃に結果発表）

学外の奨学金・研究助成制度・教育ローン

厚生労働省教育訓練給付制度（一般教育訓練給付金） 給付型

厚生労働省が働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件[*1]を満たす雇用保険の被保険者（在職者）または被保険者であった者（離職者）が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の20％に相当する額（上限10万円）がハローワーク（公共職業安定所）から支給されます。詳しくは厚生労働省のウェブサイトを参照してください。

＊1 厚生労働省の定める教育訓練給付支給要件期間が3年以上の者。ただし、初回に限り1年以上の者。離職者は、離職日から受講開始日までの期間が1年以内の者。

■ 支給金額

初年度必要経費（入学金＋授業料[*2]）の20％相当額（上限10万円）

＊2 減免奨学金を差し引いた額

■ 本学への申請

受給資格があるか確認のうえ、入学後2ヶ月以内に本学所定の申請書を大学院課に提出してください。申請書は大学院キャリアパス推進室ウェブサイトからダウンロードできます。受給資格の確認は、厚生労働省のウェブサイト、または住所地管轄のハローワークで照会用紙に記入のうえ確認してください。照会用紙は、大学院課でも入手可能です。

■ ハローワークへの申請

修了時、学位記とともに修了証明書および領収書を渡します。修了日の翌日から起算して1カ月以内に支給申請書とともに、ハローワークへ提出してください。

■ 本制度の詳細について

各ウェブサイト等を参照してください。

厚生労働省のウェブサイト
http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/kyouiku/

本学ウェブサイト
http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/fellow/

2022年度指定講座

〈博士課程前期課程〉

研究科	専攻・コース・講座
法学	リーガル・スペシャリスト・コース
	法政リサーチ・コース
	公務行政コース
経済学	経済学専攻税理・財務コース
経営学	企業経営専攻
社会学	応用社会学専攻
政策科学	政策科学専攻
言語教育情報	言語教育情報専攻
テクノロジー・マネジメント	テクノロジー・マネジメント専攻
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学専攻
映像	映像専攻

〈博士課程後期課程〉

研究科	専攻・コース・講座
経営学	企業経営専攻

厚生労働省教育訓練給付制度（専門実践教育訓練給付金） 給付型

厚生労働省が働く人の主体的で中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（在職者）または被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定の割合額（上限あり）をハローワークから支給する制度です。

■ 支給金額

支給例（概略での算出金額であり、詳細は所轄のハローワークにご確認ください）

制度利用時の支給上限額（例）	1年目	2年目	修了時に雇用保険の被保険者である場合	合計支給額
専門教育訓練給付金支給額	40万円	40万円	32万円	112万円

■ 本制度の詳細について

経営管理研究科のウェブサイトを参照してください。
http://www.ritsumei.ac.jp/mba/expenses/handout.html/

2022年度指定講座

〈専門職学位課程〉

研究科	専攻・コース・講座
経営管理	経営管理専攻・マネジメントコース

給付型 返済の必要がない　貸与型 返済の必要がある（無利子もしくは低利子）

日本学生支援機構貸与奨学金（JASSO） 貸与型

対象	本学大学院に在学する者。ただし、留学生と標準修業年限を超えて在学する者は除く。
金額	《貸与》 ●博士課程前期課程、修士課程、専門職学位課程、一貫制博士課程1･2回生 第一種（無利子）：月額5万円、8万8千円より選択 第二種（有利子）：月額5、8、10、13、15万円より選択 ●博士課程後期課程、一貫制博士課程3～5回生、4年制博士課程 第一種（無利子）：月額8万円、12万2千円より選択 第二種（有利子）：月額5、8、10、13、15万円より選択 ※法務研究科のみ第二種 15万円選択の場合、4万円または7万円の増額が可能。 ※第一種貸与者のみ「特に優れた業績による返還免除」の制度あり
募集時期	●予約採用（対象…次年度4月入学予定者 ※転入学は除く）：入学前年度の9月頃要項公開、10月中旬募集締切 ●在学春採用（対象…本学大学院に在学する者）：4月中旬頃に要項公開、5月中旬頃に募集締切 ●在学秋採用（対象…本学大学院に在学する者）：9月中旬頃に要項公開、10月中旬頃に募集締切 ●秋採用（対象…9月入学者のみ）：入学後10月中旬頃募集締切（予定） ※毎年度内容が変更となる場合があるため、詳細はお問い合わせください。
お問い合わせ	学生オフィス　075-465-8494（衣笠）　077-561-2854（BKC）　072-665-2135（OIC）　※朱雀キャンパス所属の学生は衣笠へ

企業、民間財団、地方公共団体等の奨学金 〈学校推薦群〉〈一般公募群〉 給付型 貸与型

対象	本学大学院に入学予定の者および在学する者。ただし、留学生と標準修業年限を超えて存学する者は除く。
金額	●学校推薦群：給付型／●一般公募群：給付型および貸与型　※金額や条件は財団によって異なるため、詳細は募集要項を参照してください。
募集時期	●学校推薦群：1月頃に募集要項公開、2月下旬出願締切／●一般公募群：随時　（詳細は全て本学奨学金ウェブサイト参照）
お問い合わせ	衣笠学生オフィス　075-465-8494　※他キャンパス所属の学生も衣笠へ

各種教育ローン 貸与型

低金利で利用できる教育ローンです。対象・金額・募集時期等については、奨学金ウェブサイトに案内している各ローン先のウェブサイトを参照、もしくは下記番号まで直接お問合わせください（いずれもウェブ申込可）。

●国の教育ローン	0570-008656	●オリコ学費サポートプラン	0120-517-325
●セディナ学費ローン	050-3827-0375	●滋賀銀行ジャストサポート提携ローン（教育資金）	0120-889-201

奨学金ウェブサイト　http://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/

日本学術振興会 特別研究員・若手研究者海外挑戦プログラム 給付型

■ 特別研究員

日本トップクラスの優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る目的で独立行政法人日本学術振興会が実施する制度です。特別研究員に採用された方には、研究奨励金が支給されます。

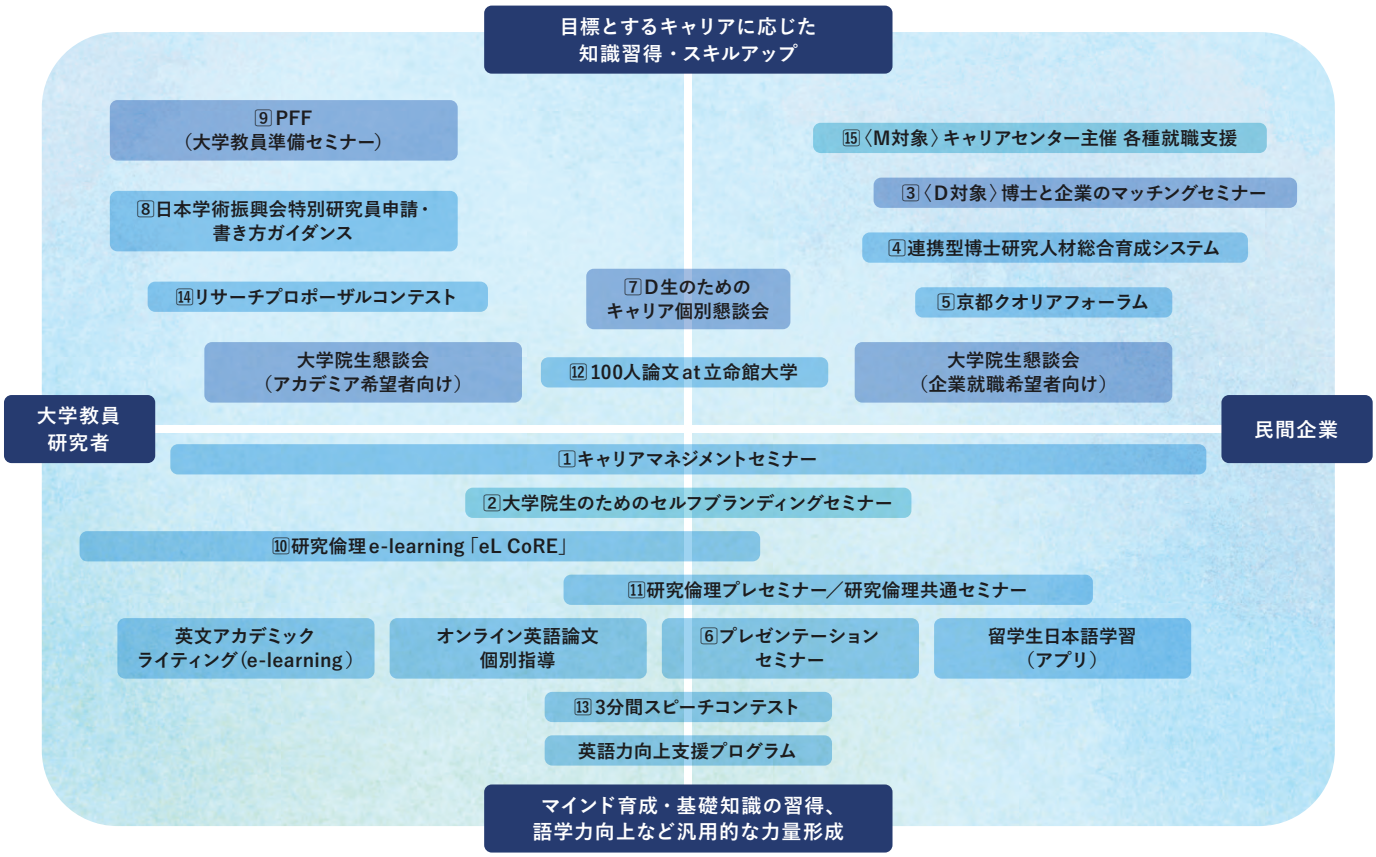
■ 若手研究者海外挑戦プログラム

博士課程後期課程に在籍する者に対し、海外の研究者と共同で研究に従事する機会を提供するために、渡航費や滞在費を支援する制度です。

日本学術振興会　http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html

Ⅱ キャリアパス支援プログラム

研究活動を通じて身につけた知識や能力を多様な分野で活かせるよう、キャリアパス形成に必要な基礎知識やスキルの習得、研究科を越えたネットワーク構築のための多様な企画を実施しています。



① キャリアマネジメントセミナー

対象 すべての大学院生

大学や企業の第一線で活躍されている方々をお招きして実施する「キャリア創造のための“実践力強化”を図る」セミナーです。企業をどのように選ぶのか、リーダーシップはなぜ必要か、未知なる課題にどのように立ち向かうか、といったテーマから、エントリーシートの書き方など実践的な内容まで、多岐に富んでいます。社会が求めるトランスファラブルスキルを身につけることができます。

（2022年度セミナー例）

［2023年度実施プログラム（予定）］

	開催時期	テーマ（内容）
第1回	5/12	だれもが必要リーダーシップ
第2回	5/19	折れない心の作り方
第3回	5/22	アカデミックキャリアの見つけ方
第4回	5/31	企業の種類と分析
第5回	6/9	知的財産ってなあに？
第6回	6/16	未来を生き抜くために必要なこと
第7回	6/23	大学院生のためのキラッと輝くエントリーシート

2022年度 参加学生の声

- リーダーシップはすべての人が持つべき力！今後の活動にも活かしていきたい。（だれもが必要なリーダーシップ）
- 教えてもらったトレーニングを実践することで、日々の困難をのりこえたいと思う。（折れない心の作り方）
- 企業研究には有価証券報告書を読むことが必須。面接準備に役立てたい。（企業の種類と分析）
- 知的財産をビジネスにいかに活用するか。具体例もあり、わかりやすかった。（知的財産ってなあに？）

② 大学院生のためのセルフブランディングセミナー

対象 博士課程前期課程大学院生

実施時期　春学期・秋学期（同一内容）

主に博士課程前期課程1回生を対象に、大学院で何を学ぶのか、自分自身の強み・弱みを科学的に知り、いかにブランディングするのかについて考えるセミナーです。セミナーでは「自己診断ツール」を使って、自分自身を客観的に分析した上で、プロの講師が強みと弱みをどう伸ばしていくのかフィードバックします。

③ 博士と企業のマッチングセミナー

対象 博士課程後期課程大学院生

主に、企業への就職をめざす博士課程後期課程大学院生を対象に、学生と企業が直接交流する中で、就職への道筋をつけることを目的としたセミナーです。企業がどのように博士を採用しているのか、就職後の働き方など、企業の方から直接お話を聞くことができます。学生も自身の研究や魅力をアピールするチャンスです。企業は、常に先を見据えて新たな展開を模索しています。そのため、全く異なる分野の博士の採用に意欲的です。今まで知らなかった企業や自身の専門とは異なる分野の企業の方と懇談することで、新たな発見やつながりを見つけることができる機会となるでしょう。

［2023年度実施予定］9月29日（金）午後（オンライン）

参加企業・参加学生 紹介サイト（2022年度）

2022年度 参加学生の声

- 専門性を高める必要があると実感した。
- 幅広い分野で活躍できることがわかった。
- 企業を知る、情報収集にもってこいの機会だった。
- 思いがけない企業と懇談し、自分が活躍できる可能性を知った

④ 連携型博士研究人材総合育成システム（通称：博士人材育成コンソーシアム）

対象 すべての大学院生（一部制限あり）

北海道大学を代表機関として、東北大学、名古屋大学とともに平成26（2014）年度にスタートした事業で、本学も2019年度より参加しています（現在13大学が加盟）。このシステムは、企業を知るためのセミナーや企業等との密接なマッチングシステム、データベースなどを通じて、民間企業や研究機関等、アカデミア以外で博士人材が活躍できる場を見出すことを目的としています。大学ごとに特徴あるプログラムが用意されており、文系・理系を問わず、本学の大学院生が参加できるイベントも数多くあります。実施概要や募集するプログラムの詳細については、大学院キャリアパス推進室のウェブサイトとmanaba+Rの大学院課のページに掲載します。

2022年度実施企画（例）

- 赤い糸会〈赤い糸ONLINE〉（北海道大学 企業とのマッチングセミナー）
- 博士リテラシー育成塾（東北大学）
- B人セミナー（名古屋大学）
- PHDリクルートフォーラム（新潟大学 企業とのマッチングイベント）
- 12大学合同！博士と企業の交流会（12大学合同イベント）
- 博士のためのキャリアガイダンス（神戸大学）

⑤ 京都クオリアフォーラム

対象 すべての大学院生（一部制限あり）

京都クオリアフォーラムは、京都に根ざす大学と企業が互いの垣根を越えた交流を通して“「知」の共鳴場”を実現すること、そこから新たなイノベーションを創出し、社会実装を通して日本の科学技術、産業界に貢献して、世界をリードする人材を輩出する事を目的として、2021年5月に設立されました。京都の企業7社と本学を含む6大学が参画しています。

このフォーラムでは、企業と大学による共同研究や企業技術者と大学研究者が活発に交流する場を作り、広い見識と実現力を持ち、将来の日本をリードする人材を育成する活動を推進しています。また、大学院生の発表の場や企業人・他大学生との交流の機会ともなっています。

京都クオリアウェブサイト　https://kyoto-qualia-forum.jp

Ⅱ　キャリアパス支援プログラム

⑥ プレゼンテーションセミナー

プレゼンが得意になると、就職活動・ポスター発表・学会発表・研究室でのセミナー等、自信をもって行うことができます。その日からすぐに使えるプレゼンのコツを伝授します。

2022年度 参加学生の声

- 理解しやすいパワポの作り方や発表中のテンポ、緊張しない方法などを学ぶことができた。今後のプレゼンで試してみたい。
- 資料を作成する中で、できるだけシンプルかつ視覚的にアプローチをすることの重要性を改めて知った。スライドが文字で埋まらないよう考えて作成を進めたい。
- 聞き手の興味を惹くような発表ができるように、今日教わった一つ一つを取り入れていきたい。

⑦ D生のためのキャリア個別懇談会

博士課程後期課程修了後のキャリアを考える上では、民間企業にアカデミックキャリアと多様な選択肢や、年齢や社会人経験など個別事情があるため、博士課程や若手研究者に特化したキャリア支援企業と連携し、キャリア個別相談会を年に数回実施しています。

⑧ 日本学術振興会特別研究員申請・書き方ガイダンス

日本学術振興会特別研究員の制度概要や募集スケジュール、申請書作成のポイントについて学びます。

⑨ PFF（大学教員準備セミナー）

大学教員として講義を行うにあたって必要となる基本的なスキルを習得するプログラム。教育開発推進機構の実践的FDプログラムと連携して実施します。

⑩ 研究倫理e-learning「eL CoRE」

時間と場所を選ばずに研究倫理を学修することができる教材です。IDとパスワードは下記より各自で申請してください。

https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx

⑪ 研究倫理プレセミナー／研究倫理共通セミナー

研究を進めるにあたって知っておかなければならない行動規範、成果発表方法など研究倫理に関する基礎知識の習得を目指します。

⑫ 100人論文 at 立命館大学　対象 すべての大学院生

自分の研究を1枚の写真と3つの質問に対する回答で表現します。発表者は匿名で公開し、閲覧者も匿名でコメントします。研究を多くの人に知ってもらうチャンスであり、思いがけない新たなつながりに発展する可能性があります。

2022年度ベストインパクト賞

大賞
- 男子文化再生産の研究―保育園3歳児クラスのビジュアル・エスノグラフィー調査―

2022年度 参加学生の声

- 自分の研究を知ってほしい、他の人と交流したいと思い、投稿した。多くの方にみていただいて、大変満足している。
- とても面白い試みだと思う。自分の研究を短く、わかりやすくまとめることは難しいけれど、大切なことだと思った。

⑬ 3分間スピーチコンテスト

自身の研究を3分間にまとめてわかりやすく伝えるスピーチコンテストです。研究発表の機会であるとともに、発表スキルの向上や異分野交流のきっかけにすることを目的としています。

⑭ リサーチプロポーザルコンテスト　対象 すべての大学院生

自身の研究のアイデアを、いかに魅力的に研究計画書上で表現できるかを競うコンテストです。申請書は、日本学術振興会特別研究員の申請書式とほぼ同じ項目となっていますので、日本学術振興会特別研究員に申請する前のトレーニングとしても位置付けています。
審査は、文系・理系毎に教員によって実施され、大賞・優秀賞・敢闘賞が表彰項目として設定されています。例年、大賞受賞者が、リサーチオフィス主催の「ライスボールセミナー」の時間で発表を行っています。

2022年度 審査結果

大賞
- 視覚障害を考慮したビデオゲームのUIと読み上げ音声の内容開発に関する探索的研究（映像研究科 博士課程前期課程）
- 散乱光多次元計測と光波操作による脳神経機能の4次元イメージング（理工学研究科 博士課程前期課程）

外国語学習＆ステップアップ編

立命館大学では、大学院生向けの言語学習、またステップアップ支援も充実しており、
様々なプログラムを無料で受講いただけます。
英語学習においては、TOEIC®L＆R公式テストの受験料補助もあり、
学習結果を形にするまでの一連をサポートします。

For details of support for English-based students, please visit this website.

英語力向上支援プログラム

Step 1 無料オンライン学習 → Step 2 言語習得プログラム受講 → Step 3 学内ITPテスト（TOEFL ITP® テスト / TOEIC® L＆R ITPテスト） → Step 4 公式テスト（TOEIC® L＆R ITPテスト）

外国語学習支援 ランゲージ・アカデミー

5つのカテゴリーから
選べる教材を活用し、
いつでもどこでも学習できる

goFLUENT

ベーススキル向上 支援補助制度

立命館大学
言語習得センター（CLA）が
実施する英語講座
受験料を全額補助
※年度1講座に限る

英語団体受験 補助制度

学内の団体テストを
無料受験
※年度内1回に限る

TOEIC® L&R公式試験 受験料補助制度

公式テスト受験料
（最大7,810円）を全額補助
※春学期／秋学期
各1回に限る

英文 ライティング スキルアップ

＼ ライティング e-learning ／

英文アカデミックライティング

科学論文の書き方や
査読方法等を
e-learningで学習する

＼ 英文アカデミックライティング指導 ／

オンライン英語論文個別指導

実際に書いた英語論文やレポートに対し、
45分間のオンライン個別指導が受けられる
※春学期／秋学期 共に受講料無料

多言語学習

＼ 無料オンライン学習 ／

外国語学習

外国語学習支援 ランゲージ・アカデミー

教材を活用し、
12言語を無料で学べる
※言語によって
コンテンツに差異あり

goFLUENT

＼ 他言語で論文等執筆、また参考文献や論文など読む ／

自動翻訳

みらい翻訳 Mirai Translator®

外国語（主に英語）で論文等執筆するや他言語の文献や論文を読む際に、自動翻訳によるチェックができ、大幅に時間短縮できます。

m t MiraiTranslator®

ログイン サイト

使い方に困ったときのFAQsサイト

＼ NIHONGO MAMABU ／

サバイバル日本語

留学生日本語学習（アプリ）

英語基準留学生を対象に、
日本での暮らしや生活を
支えるために必要な
日本語能力の
習得を目指します

⑮ キャリアセンター主催 各種就職支援

対象 修士課程・博士課程前期課程・専門職学位課程 大学院生

キャリアセンター

衣笠 研心館1階　BKC プリズムハウス2階　OIC A棟1階AS事務室

キャリアセンターでは、学部・大学院生問わず、進路選択・就職活動を支援するための各種ガイダンスやセミナーを実施しています。大阪や東京のサテライトキャンパスにもサポート拠点があります。お気軽にお問い合わせください。

※博士課程後期課程の方は大学院課へご相談ください。

窓口時間	月～金 9:30－17:00（水曜午前中および 11:30－12:30は閉室）
問い合わせ	r-career@st.ritsumei.ac.jp

キャリアセンターウェブサイト
http://www.ritsumei.ac.jp/career/

■キャリアセンターでの相談窓口（事前予約）

キャリアセンターでは、修士・博士課程前期課程の民間就職や公務員志望の方を対象に、履歴書やエントリーシートのアドバイス、面接アドバイスのほか、進路に関する相談に応じています（1回30分）。事前予約制で、対面相談・オンラインでの相談が選択できます。

予約方法：キャリアセンターウェブサイトから予約受付。希望相談日の1週間前の午前8:00から相談日前日の午前12:00まで予約可能。

■就職活動に関する各種ガイダンス・セミナー

キャリアセンターでは、修士・博士課程前期課程の方を対象とした就職ガイダンス・セミナーも実施しています。研究活動を踏まえた就職活動の流れや、企業が大学院生に期待することをはじめ、就活に役立つ内容をお伝えしています。また、インターンシップや就職活動で求められる自己理解・企業研究に関する選考対策セミナーも行っています。

■公務員、資格取得を目指す方へ

エクステンションセンターでは、公務員試験や様々な資格取得に向けた各種講座の開講や学習支援を行っています。エクステンションセンターは各キャリアセンターに併設されています。

■外国人留学生の方へ

日本では、在学中に就職活動を行い、卒業・修了までに進路を決定することが一般的です。そのため、日本での就職を希望する場合は、早めに準備をしましょう。キャリアセンターでは、日本での就職を希望する留学生の方を対象に、就職ガイダンスや各種就職活動支援企画を実施しています。また、留学生を積極的に採用している企業情報や、学外の就職セミナーの案内など、日本に在留しての就職活動に役立つ情報のメール配信も行っています。

■立命館独自の就職支援Webシステム（キャリタスUC）

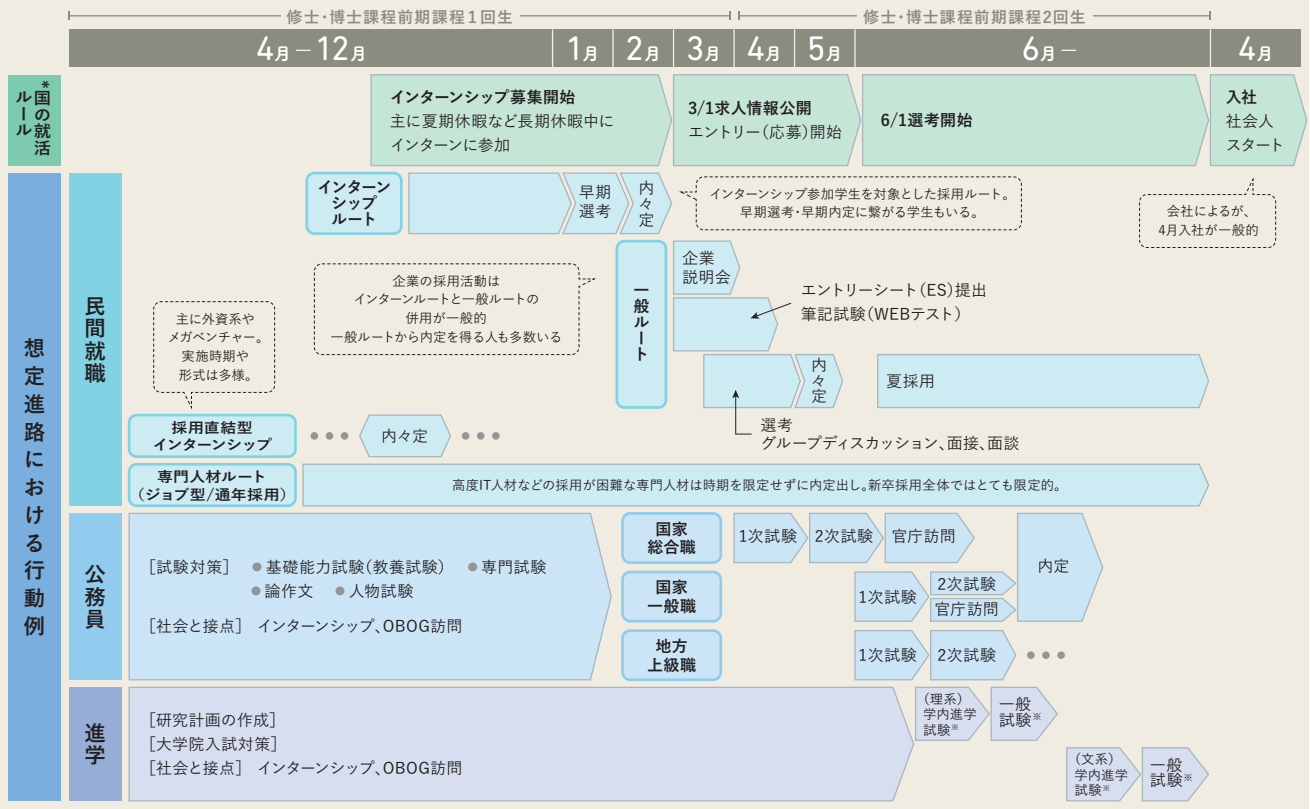
キャリアセンターでは、本学の民間企業や公務員に内定した方の活動報告書（就職活動記録・公務員受験体験記）を蓄積しています。関心のある企業・団体の活動報告書からは、採用選考に関わる情報や就職活動に関する内定者からのアドバイスなど貴重な情報を入手できます。また、本学の院生・学部生を積極採用する企業からのインターンシップ情報や求人票も閲覧できます。アクセス方法はキャリアセンターウェブサイトをご確認ください。

■キャリアセンターLINE公式アカウント

キャリアセンターの最新情報を入手できます。
LINEの「友達追加」からID検索（@ritsumei-career）またはQRコードを読み取ってください。

修士・博士課程前期課程における進路別行動スケジュール（例）就活編

民間企業への就職を希望する場合、インターンシップ等を活用した早期の準備が大切です。
キャリアセンターの支援企画も活用しながら、就職活動を進めてください。



＊政府「就職採用日程に関する関係省庁連絡会議」によるスケジュールに基づく場合

※入試時期は、研究科によって異なります

voice

国際関係研究科
博士課程前期課程 2022年3月修了
内定先：スズキ株式会社

POR Andrea さん

日本での就活について、参考となる非漢字圏の大学院生の事例が少なく、母国と日本の就活が根本的に違い、不安が大きかったです。そこで、就活の初期段階からキャリアセンターを利用し、セミナーや模擬面接に参加しました。就活をしていく中で、面接はとにかく慣れることが重要だと思いましたし、模擬面接は考えや経験を簡潔にまとめて話すことができるようになり、とても役に立ちました。就活を始めるのに早すぎるということはないので、入学したその日から情報収集してもいいと思います。留学生の方は日本人らしい言葉遣いやふるまいを身に付けていくことも大事だと思います。

経済学研究科 税理・財務コース
博士課程前期課程 2021年3月修了
内定先：株式会社 滋賀銀行

矢谷 世良 さん

近年の就活は情報戦と言われていますが、大学院生は周りに就活している学生が少ないことから学部生よりも情報が少なく不利だと言われています。確かに私の周りも就活をしている学生は少なかったのですが、立命館大学のキャリアセンターは就活情報の検索方法から面接練習まで幅広く就活支援を行っており、不足している情報はキャリアセンターを積極的に利用することで補うことが出来ます。私も就活時はキャリセンターを積極的に利用していた為、そこまで大学院生のデメリットを感じることなく希望企業の内定をいただくことが出来ました。

\ NEW! / 博士課程後期課程修了後のキャリア支援につ

大学院キャリアパス推進室では、これまでキャリアセンター・研究部と連携して博士課程院生のキャリア支援を行ってきました。
この間のサポート実績から明らかになってきたことは、
博士課程入学後の早い段階から修了後のキャリアについて考えておく必要があるということです。
忙しい研究活動とキャリア獲得のための活動を両立するために必要なのは、
情報収集と会社・求人との出会いの場に足を運ぶことです。以下に、代表的な3つのアクションについて紹介します。
ぜひ早い段階から、修了後のキャリアを意識して少しでも準備をはじめていきましょう。
この準備の積み重ねが学位取得とキャリア獲得の両立に繋がります。

ACTION 01

博士課程学生に特化したガイダンスの実施

まずは、民間就職・アカデミックキャリアという代表的な2つの進路に特化したガイダンスを開催しますので、ぜひ出席しましょう。

D生のための進路・就職ガイダンス

本ガイダンスは、博士課程後期課程院生向けに修了後の進路・就職についてまとめた内容になっています。博士の就職活動においても、キャリアパスの方向性を早期に固め、採用側の人材ニーズを知るには、希望する進路に関する情報収集やネットワーク形成を行うことが不可欠になります。
一方で、博士として自立した研究者になるためには、研究活動などに膨大な時間が必要です。これらを両立するためには、学位取得の目途が立ってから慌てて考えるのではなく、早い時期から少しずつ継続的に取り組むことが効果的です。
今日から第一歩を踏み出すために、博士の就活スケジュールや、企業が人文・社会科学系博士に何を求めているのか、博士課程で身に付けておくべきことは何か等を、このセミナーで知っておきましょう。

D生のためのアカデミックキャリアガイダンス

本企画は、アカデミア志向の人文・社会科学系博士学生が抱く「アカデミア志望者はキャリアプランをどのように考えるべきか」「アカデミアの就職活動はどうやって進めるのか」という疑問に答えつつ、柔軟な進路選択の考え方を示唆するセミナーの開催をご提案します。
セミナーでは、博士人材を専門とした民間人材サービス企業の立場から長年、博士学生のキャリア支援を行ってきたキャリアアドバイザーが、人文・社会科学系博士学生が専攻に関わらず共通して把握しておかなければならないキャリア構築に必要なマインドセットや、就職活動の具体的ノウハウを解説していきます。人文・社会科学系以外の方も参加可能です。

ACTION 02

キャリア個別相談の実施

博士課程後期課程修了後のキャリアを考える上では、民間企業にアカデミックキャリアと多様な選択肢があります。また、年齢や社会人経験、研究分野など個別事情により状況が大きくことなります。そこで、博士課程や若手研究者に特化したキャリア支援企業と連携し、キャリア個別相談会を年に数回実施しています。開催時期等については、キャリアパス推進室またはmanaba＋R等を通じて連絡いたします。ぜひご活用ください。

キャリア個別相談会が開催されていない時期でも、何か相談・質問がありましたら、大学院キャリアパス推進室の事務局宛にご連絡ください。

いて

ACTION
03 出会いの場を提供

アカデミックキャリアに向けて

JREC-IN Portalにアクセスして、マッチングメールの設定をする

JREC-IN Portalは、研究者・研究支援者・技術者等の研究人材のキャリア形成・能力開発を情報面から支援する研究人材のためのポータルサイトです。アカデミックポストの求人募集で一番利用されており、国立研究開発法人科学技術振興機構が運営しています。
マッチングメール設定をしておくと、希望する条件の求人が来るとメールでお知らせしてくれます。ぜひ、マッチングメール設定して、希望にあった求人情報が届くようにしておきましょう。学位取得後にどのような経験を持っていると有利なのか傾向も知ることができます。

- JREC-INポータル　https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop

PFF（大学教員準備セミナー）に参加して、教員に必要なスキルを学ぶ

大学教員として講義を行うにあたって必要となる基本的なスキルを習得するプログラムです。

日本学術振興会特別研究員への採択を目指す

特別研究員に採択された方の多くが、修了後にアカデミックポストについています。若手研究者の登竜門ともいわれる本制度に申請しましょう。

民間企業就職に向けて

博士採用に積極的な企業に触れる

百聞は一見に如かずという言葉がありますが、実際に博士採用を積極的に行っている企業の方と直接お会いすると実態が良くわかります。以下のイベントでは、企業の方との交流ができるため、ぜひご参加ください。思いがけない企業と懇談し、自分が活躍できる可能性を知ったという院生が多くいます。

- 博士と企業のマッチングセミナー（詳細は、P24参照）
- 京都クオリアフォーラム（詳細は、P24参照）

博士向けの求人に出会う、集める

博士人材を必要とする場所は、大学・研究所などのアカデミックキャリアに限らず、民間企業含めたように存在します。それらの情報を効率的に集めるためにはどうしたら良いのか。ここでは代表的な情報収集ツールを掲載していますので、ぜひご活用ください。

博士向けの民間企業就職

博士課程や若手研究者に特化したキャリア支援企業が運営する求人情報サイトに登録しましょう。サービス登録して面談を受けると求人情報の紹介やES添削・面接対策などを行ってくれる会社もあります。

- 教育人財バンク　https://careerbank.ohrde.or.jp/
- アカリク　https://acaric.jp/?yclid=YSS.1001178569.EAIaIQobChMI9fnj6vKE_QIV-ZlmAh28BQJREAAYASAAEgIdpPD_BwE
- 博士情報エージェント　https://phd-agent.net/

大学院キャリアパス推進室ウェブサイト

大学院キャリアパス推進室宛に届く求人やインターンシップ情報は定期的にまとめてウェブサイト上に掲載しています。時期によっては、なかなか求人が届かない時もありますが、定期的にチェックするようにしてください。

Ⅲ 全学共通の多様な学び

各研究科で培う高度な専門力・研究力をベースに、分野の垣根を越え、社会で活躍できる力量を
兼ね備えた人材（高度専門人材）を育成することを目的とした授業科目や課外プログラムを実施しています。

■大学院共通科目

問 各研究科の事務室

大学院生に共通して求められる知識・能力等の獲得を目的とする授業科目を、研究科を越えて開講するものです。専門性に加えて、主専攻に関連する科目を体系的に学び、専門分野における俯瞰的な視点や複眼的視野を養うことを目的に開講します。

■ 開講科目・受講登録

開講科目・受講登録の詳細については、大学院共通科目のウェブサイトで確認してください。

大学院共通科目のウェブサイト
http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/stepup/common.html/

［開講科目における科目群］

（1）正課科目

※講義内容については、オンラインシラバスを参照してください

（2）課外のセミナー

■ 対象

以下の課程に在学している者

- 法務研究科を除く専門職学位課程
- 博士課程前期課程
- 修士課程
- 一貫制博士課程

■ジョブ型研究インターンシップ・プログラム

問 RARAオフィス

文部科学省が、①社会全体で国の「研究力、イノベーション力」を強化していくために、産学協働で大学院教育の充実を図る、②今後の雇用慣行の変化を見据えた対応の必要性、の観点から、博士課程後期課程学生を対象に2021年度より実施している取組です。

■ 資格要件

研究遂行の基礎的な素養・能力を持った博士課程後期課程学生

＊当面の間、理工学研究科・情報理工学研究科・生命科学研究科・薬学研究科・スポーツ健康科学研究科に在学する学生

■ 本プログラムの詳細

文部科学省のウェブサイトを参照してください。

ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）実施方針（ガイドライン）（案）等について
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/109/toushin/1386864_00001.htm

■ 本プログラムの特徴

- 長期間（2ヶ月以上）かつ有給の研究インターンシップ
- 正規の教育課程の単位科目として実施
- 参加を希望する学生（要登録）は、参加企業が提示するジョブディスクリプション（業務内容、必要とされる知識・能力等）を閲覧し、インターンシップを希望する企業に応募。企業が可否を決定
- インターンシップ終了後、学生に対し面談評価を行い、評価書・評価証明書を発行
- インターンシップの成果は、企業が適切に評価し、採用選考活動に反映することが可能

■プロジェクト・ゼミナール

問 RARAオフィス

前期課程学生と後期課程学生がグループになって行うゼミナールです。SDGs課題の中から、グループで1つの課題を選択し、その解決策を検討するPBL（課題解決型学習）を行います。PBLを通じて、議論の進め方を学ぶとともに、主体性、チームワーク力、リーダーシップ、課題設定・解決力等を育成します。また、解決策は高校生に発表し、投票してもらいます。いかに高校生にわかりやすく発表ができるか、プレゼンテーション能力も磨くことができます。さらに、異なる研究科の学生が力をあわせることや後期課程学生が持つ専門性から学ぶことも多く、お互いを高めあうことができます。

■ 実施時期

秋学期

■ 対象

修士課程・博士課程前期課程・後期課程・専門職学位課程 大学院生

■イノベーション・ゼミナール

問 RARAオフィス

企業から課題をもらい、グループでその解決策を検討し、提案するゼミナールです。企業は何に重きを置いて商品開発を行っているか。実社会で必要なイノベーションの意味を知り、それをいかに活用すればいいのか、実践的に学びます。グループだからこそできる貴重な経験であり、就活にも役立つ経験です。

■ 実施時期

秋学期

■ 対象

修士課程・博士課程前期課程・専門職学位課程 大学院生

■大学院コーオプ演習

問 キャリア教育センター（BKC）

（1）企業が抱えている実際の課題に対して、チームで半年間かけて企画提案を行う高度な課題解決型オンキャンパス型のインターンシップです。
（2）専攻学問の異なる大学院生と学部生の混成チーム（大学院生1〜2名、学部生4〜6名）で構成されます。
（3）大学院生はリーダー役を務めます。
（4）企画立案研修・プレゼンテーション研修など問題発見や課題解決に必要なスキルもしっかり学ぶことができます。

■ 受講キャンパス

所属キャンパスでの受講となります。

■ 単位数

2単位 ※所属研究科により単位授与分野が異なります。

■ 募集回生

1回生以上

■ 開講研究科

修士課程・博士課程前期課程 全研究科（ただし、MOT、法務研究科、経営管理研究科、薬学研究科、教職研究科、人間科学研究科を除く）

■ 応募期間・方法（予定）

4月上旬〜5月上旬 キャリア教育センターウェブサイトより申請
※詳細は「コーオプ教育ガイドブック」またはウェブサイト等でご確認ください。

■ 過年度演習グループとテーマ抜粋（参考）

企業名	テーマ
京都中央信用金庫	Z世代にも選ばれるために 実施すべき施策
月桂冠株式会社	日本酒の新規顧客開拓を目的とした マーケティング戦略の立案
ホテル日航 プリンセス京都	ホテル会員制度を活用した 宿泊部門の売上増売企画の提案
株式会社アシックス	キッズをターゲットとする、 プロダクトとサービスを連携させた 包括的な事業立案
丸大食品株式会社	植物肉を使った 加工食品の開発と展開方法

■ お問い合わせ

キャリア教育センター（BKC）
TEL：077-561-3398　E-mail:coop-edu@st.ritsumei.ac.jp

詳細は、キャリア教育センターのウェブサイトで確認してください。
キャリア教育センター ウェブサイト「科目紹介 コーオプ演習」ページ
http://www.ritsumei.ac.jp/cec/course/coop/

voice

2019年度コーオプ演習 受講生
理工学研究科 2020年度修了

山中 玲 さん

研究は専門的なことを地道に積み上げていく作業が多いため、毎日が単調になりがちです。そのため、研究以外のことも挑戦してみたいと思い、友人とコーオプ演習に参加しました。コーオプ演習は一人で行う研究とは進め方がまったく異なっており、これがとても面白く刺激的で、研究のためのアイデア出しの手がかりにもなりました。大学院生はチームリーダーを務めますが、チームをまとめることの難しさを実感しつつ、他のメンバーとともに半年かけてアイデアを考えました。はじめは手探りでしたが、ひとつの物事を協力してやり遂げたことは、チームプレーを学ぶ上で良い経験になりました。就職活動では「チームでの活動経験はありますか」と問われることが多く、コーオプ演習での経験をもとに自信をもって答えることができました。また、物事を段階的に考え、確実に目の前の課題を解決し、最終目標を達成するというプロセスは、社会人になった今も活かされていると感じます。

大学院キャリアパス推進室ウェブサイトの使い方

http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/

原則毎週火曜日にメールマガジンを配信します。セミナーや奨学金の案内URLが付いていて便利です！

A 奨学金・助成制度の確認方法

「奨学金・研究助成」をクリックすると詳細が確認できます。募集要項や各種指定書式も掲載されています。

B 過年度のセミナー情報の確認方法

「大学院キャリアパス支援プログラム」から進んだページで「終了したプログラム」をクリックすると過年度のセミナー情報が確認できます。

C Ri-SEARCH

立命館大学若手研究者学術・キャリア情報検索システム

Ri-SEARCHは、全大学院生が利用できる研究管理システムです。

D セミナー申し込み方法

開催予定のセミナーを掲載しています。ここからセミナーの申込みができます。

E 私のキャリアパス 大学院生に送るメッセージ

修了生や教員からのメッセージ、先輩たちのキャリアパスを知ることができます。ご自身のロールモデルが見つかるかもしれません。

F goFLUENT

英語を含む12言語を無料で学べるオンライン学習教材です。

G みらい翻訳

外国語（主に英語）で論文等執筆する際や他言語の文献や論文を読む際に、自動翻訳によるチェックができ、大幅に時間短縮できます（無料）。

Ri-SEARCH

Ritsumeikan University
Search Engine of Academic Record and
Career History of Young Researchers

大学院生であれば、だれでも利用できます

立命館大学若手研究者 学術・キャリア情報検索システムの使い方

POINT 01 ▼ 研究業績の管理ができる

POINT 02 ▼ 奨学金申請に使える

POINT 03 ▼ 大学院生研究業績サイトに公開できる

ログインページ
Rainbow ID/パスワードを入力してログイン

Ri-SEARCH マニュアル

01 研究業績の管理ができる

自身の研究活動・業績等をシステムに登録・蓄積することにより、研究活動や研究計画を自分で振り返ることができます。システムに登録した研究活動・業績等は研究業績報告書として出力できます。
研究業績報告書は、修士論文や博士学位申請論文の提出や学内の奨学金に申請する際に添付資料として指定されていることがあります。その際にご活用ください。また、就職活動の際に履歴書に同封して提出することもできます。

システムが蓄積・公開する情報	
基本項目	個人情報／学歴／資格・免許　等
業績項目	学会／著書・論文歴／現在の専門分野／受賞学術賞／研究課題　等
社会活動項目	所属学会／担当経験のある科目／社会における活動
その他	画像登録／自己PR／海外活動／学内奨学金・研究助成金獲得状況　等

02 奨学金申請に使える

学生学会奨学金申請

申請手続きまでシステムで行うことができます
● M学生学会奨学金　● D学生学会奨学金

各種奨学金申請書作成（Dのみ）

下記奨学金の申請に必要な申請書を作成できます
●研究奨励奨学金　●日本学術振興会　育志賞

※事前に研究業績を登録する必要があります

03 大学院生研究業績サイトに公開できる

研究業績を登録後に“公開可”を選択すると大学院生研究業績サイトに公開されます。
公開した研究者情報は、名前で検索して閲覧することができます。
ご自身のリンクをメールの署名や名刺にいれ、学会に参加される際などの自己PRツールとしてもお使い頂けます。

大学院生研究業績サイト

自分のマイページURLを
メールの署名にいれたり、
QRコードを名刺にいれて、
自己紹介ツールとして活用できます。

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

立命館大学
大学院キャリアパス推進室

d-cp@st.ritsumei.ac.jp

事務局（RARAオフィス） 担当部局が変わりました！
〒603-8577
京都市北区等持院北町56-1 至徳館4階
TEL：075-465-8190

※2023年9月頃にオフィス移転を予定しています。
詳細は決まり次第、お知らせします。

奨学金・研究助成制度、各種プログラムについては、ウェブサイトに掲載している最新の募集要項等で必ず確認してください。

立命館大学
大学院キャリアパス推進室
http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/

2023年3月発行

本誌におけるインタビュー記事（Voice）について、学生の所属・回生、活用した奨学金・支援制度名称等はインタビュー当時のものであり、現時点においては最新の情報ではない場合があります。